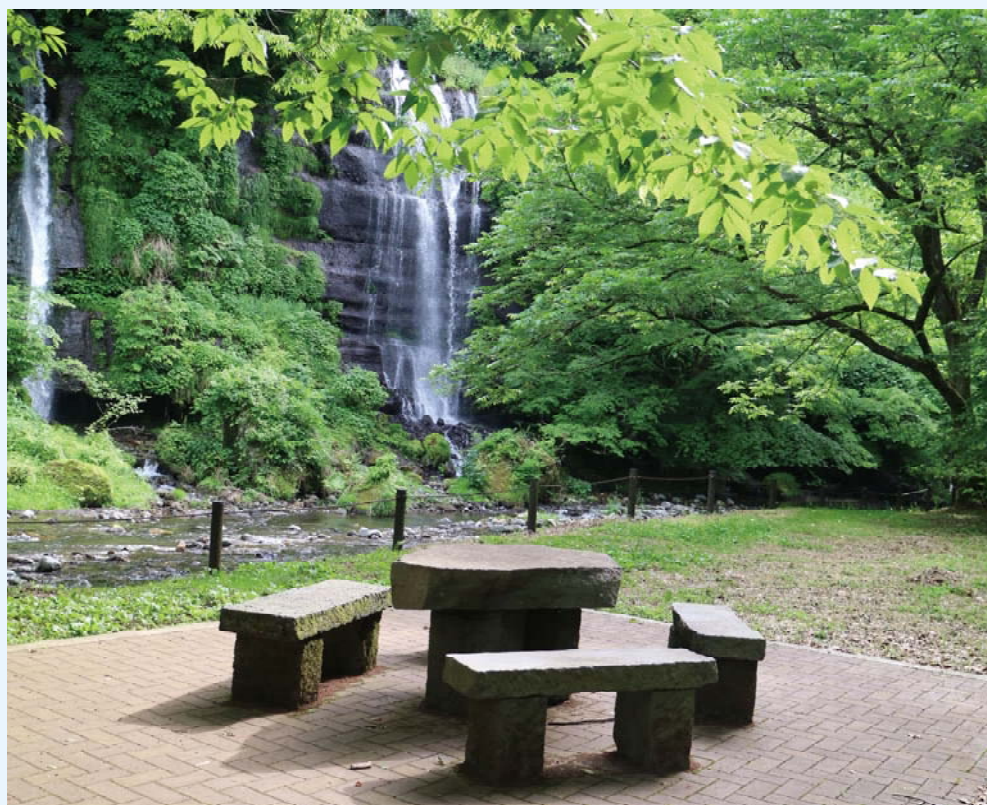


第2章

景観まちづくりの方針



第2章 景観まちづくりの方針

1. 景観まちづくりの理念と目標

(1) 基本理念

本市の景観特性、景観に対する市民意向、景観まちづくりに向けた主要課題を踏まえ、次のような景観まちづくりの理念を設定します。



本市は、富士山に向かって開けた桂川沿いの平坦地に都市軸が集中し、これより帯状に伸びる5つの谷筋に農山村集落が点在しています。市域の8割以上が山地であり、山や山稜は複雑で細やかな地形を形成しています。そのため、暮らしのすぐ身近に自然景観が息づいているのがまちの特色です。

自然が身近にある景観、山並みが重なり合う美しい眺望、谷筋に寄り添う郷土の農山村景観、富士山に向かって開かれた城下町としての歴史的景観、川や湧水など豊かな水とともに暮らす営みの景観、学生が集い研鑽に励む学園都市の景観など、目に映るものから潜在的なものまで、風景資産がまちの至るところに息づいています。

こうした本市固有の景観は、自然や社会との関わりの中で、先人たちが知恵と暗黙の秩序のもとに永い年月をかけて受け継いできたものです。このかけがえのない財産を大切に守り、育て、後世に引き継いでいくことは、今を生きる私たち一人ひとりの重要な責務でもあります。

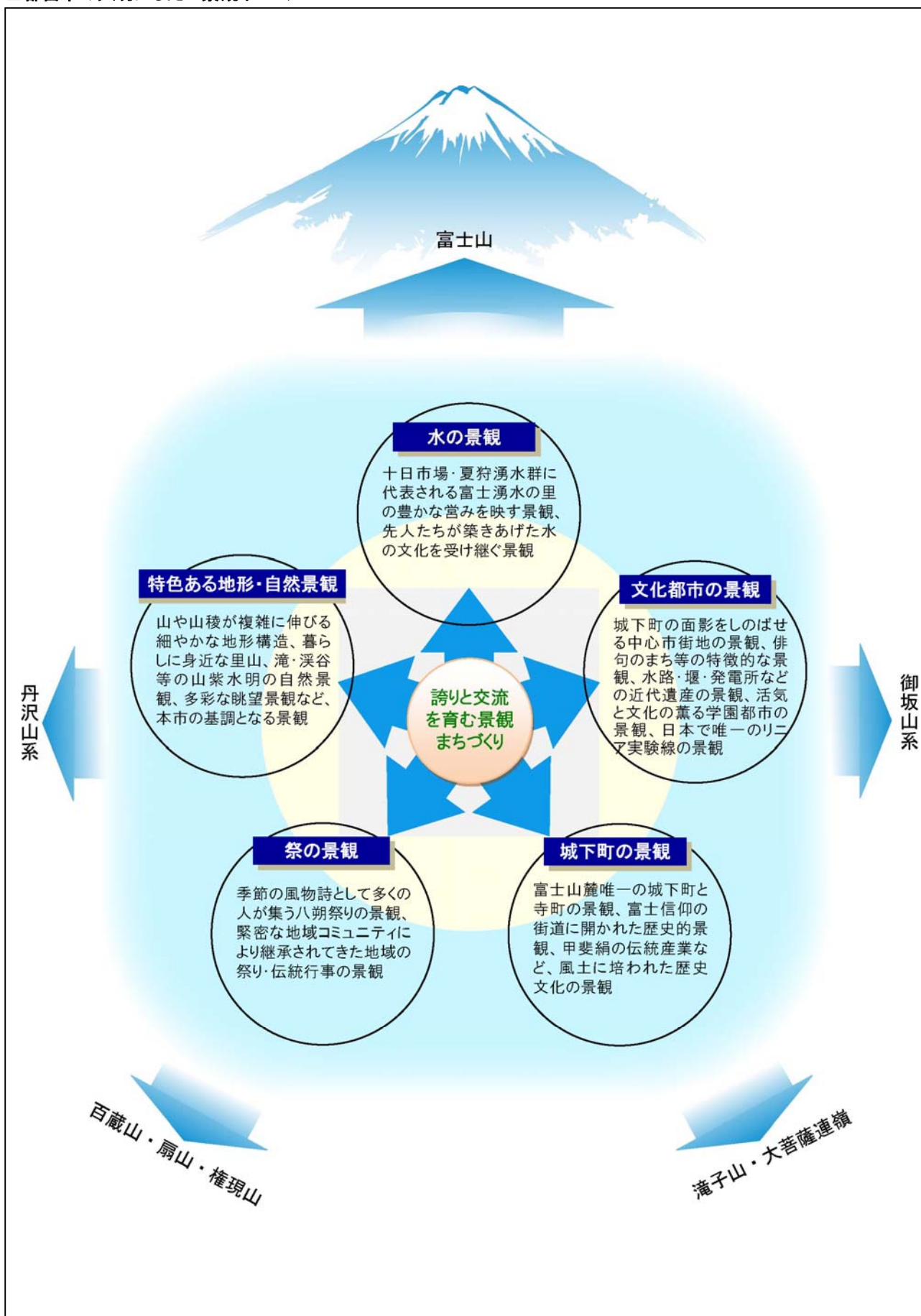
一方、まちは時代とともに変容し、人々の志向や希求も変化します。こうした変化に向き合った新たな景観を創出していくことも必要となります。しかし、美しい景観を創るためには永い年月が必要となることも事実です。都留市らしい良質な景観を将来につなげていくためには、目に映る景観の背後にあるまちの成り立ちや歴史をもう一度見直し、多彩な風景資産を本市のアイデンティティ*として結びつけ、多くの人と共感し、守り・育む芽を育てていくことが重要です。

また、見る対象だけでなく、豊かな自然や水に育まれた営みを守る取り組みや、八朔祭りに代表される伝統行事を継承する取り組みが盛んであり、こうした取り組みのエネルギーを景観まちづくりに活かすことが望まれます。

以上のような視点を踏まえ、まずは、住んでいる人が心地良く感じ、そのために地域の宝物を慈しみ、磨きをかける景観まちづくりを進め、その暮らしぶりに惹かれ、住み続けたい、訪れてみたいと思えるような好循環を生み出し、多くの人の交流と協働により、郷土の景観に誇りを持って育む景観まちづくりを基本理念として掲げます。

注) * アイデンティティ：環境や時間の変化にかかわらず一貫して持つ同一性、らしさ。よりどころ。

■都留市の大切にしたい景観イメージ



注) ここに示す本市の大切にしたい景観イメージは、「景観市民アンケート調査」や「都留市景観まちづくり市民懇談会」の意見から整理しました。

(2) 景観まちづくりの目標

本市の景観まちづくりを推進するため、次の景観まちづくりの目標を設定します。

■景観まちづくりの目標

●景観の基調をなす細やかな地形構造を尊重し、継承します

稜線と谷筋の入り組んだ地形と山並みが幾重にも重なる眺望、急峻な河川と帯状に形成された平坦地、富士山の溶岩造形や絶え間なく湧き出す湧水などは、人為を超えた長い歳月の中で形づくられてきたものであり、本市の景観の土台を成すものです。

山紫水明の景勝地、変化に富む多彩な眺望景観、自然とともにある暮らしの景観など、本市の景観に奥行きを与え、景観の基調をなしている大地の構造を損なうことのないよう、普遍的な風景資産として尊重し、厳正に継承する景観まちづくりを目指します。

●固有の風景資産を活かし、多彩な表情が共鳴する魅力ある景観を育みます

本市は、山峡の細やかな地形を基調に、湧水や渓谷、ハイキングや自然レクリエーションなど、身近に自然に触れあう環境が景観的にも大きな魅力の一つとなっています。また、この環境は、水路が巡る城下町の遺構や、先人たちが築いてきた水の文化、風土に育まれた伝統産業など、歴史文化的景観の中にも脈々と受け継がれ、息づいています。

さらに、河川沿いの平坦地に細長く形成された市街地景観や、放射状に展開する谷筋に寄り添う奥行きのある山間集落景観、湧水の里や農の景観など、地形的特色やまちの成り立ち、生業などにより、地域ごとに特徴のある暮らしの景観が展開しています。

本市の景観形成にあたっては、地形構造を基調とし、その上に重層的に積みあげられた地域の景観的な特徴を継承し、活かしていくことが重要です。そのため、「継承していく景観」と「創出していく景観」双方の視点を考慮しつつ、本市の持つ多彩な表情が、「都留市らしい」魅力として表れる景観まちづくりを目指します。

●郷土景観の誇りを育み、交流・活性化の好循環に結びつく景観を創出します

本市は、豊かな自然に親しむレクリエーション景観、湧水や四季折々の景観、八朔祭り等の祭りの景観など、都留ならではの山・水・里・人に触れる交流の景観を育んできました。

郷土景観を継承するためには、今ある風景資産を守ることだけではなく、景観を介した地域振興やインバウンド観光も含めた多様な交流により、都市の持続的な発展を見据え、住む人が誇りを持てる景観を新たに創出していくことも必要です。

そのため、本市の景観の価値や魅力を再認識し、磨きをかけ、地域振興や観光振興に活すとともに、定住や移住促進への波及効果をもたらすよう、郷土景観への愛着と誇りを育み、その好循環が市民や来訪者の交流・活性化に結びつく景観の創出を目指します。

●景観を次代に引き継ぐ共感と協働による景観まちづくりをめざします

本市は、自然体験や生態系の保全活動、河川や水路などの清掃・美化活動、城下町を顕在化する活動など、地域景観や環境を守る様々な市民活動が行われています。

景観づくりは人づくりともいわれます。良好な景観形成は、景観の価値を理解し、共感できる人々がいて初めて成すことができます。

本市の景観まちづくりは、市民一人ひとりが景観に関心を向け、身近なところから動きはじめ、地域で景観づくりに取り組む気運を高めて、少しずつその活動を蓄積していくことが重要です。

景観は市民共有の財産であることを再認識し、大切に育て、誇りを持って次代に引き継ぐため、市民、事業者、行政等がそれぞれの役割と責任をもち、主体的な活動を支え合い、時には来訪者の協力も得ながら、共感し、協働する景観まちづくりを目指します。

(3)都留市の景観構造

①都留市の景観構造の特徴

本市は、山稜と河川が細やかに入り組んだ奥行きのある地形構造と、その地形に即し、豊かな自然と関わりながら暮らしてきた永い歴史と人々の営みが作り出した土地利用が、景観の基本構造を形成しています。

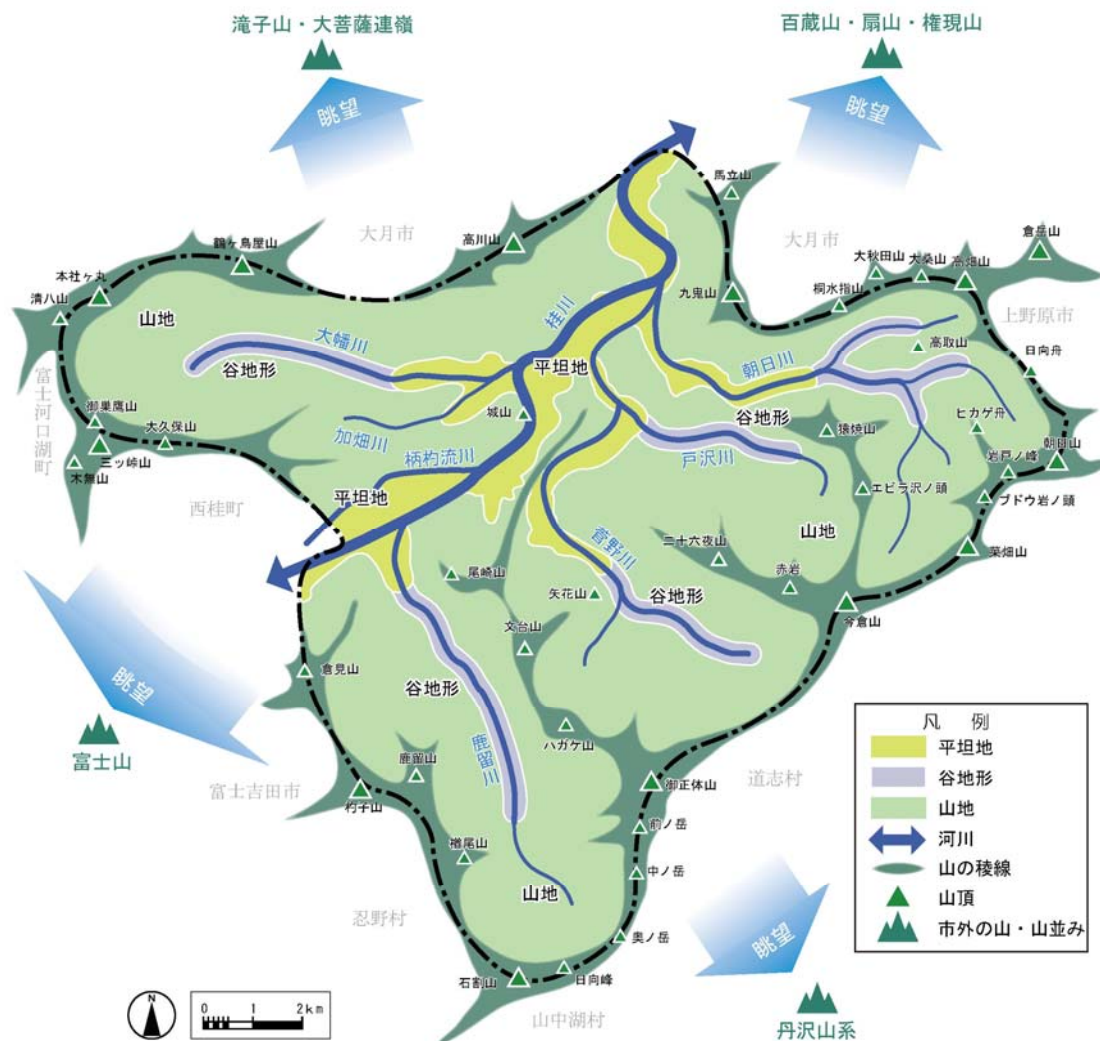
■地形からみた景観構造

本市は、周囲を 1,000m級の急峻な山岳に囲まれ、山稜の尾根筋がいくつも枝分かれする、複雑で変化に富む地形を呈しています。特に、中心市街地に沿って長く伸びる標高 500~600mの都留アルプスなど、居住地の際まで山裾や里山・森林がせまり、暮らしの身近に自然景観が織り込まれているところに大きな特徴があります。

市の中央を西から東に貫流する桂川は、河川の上流方向に壮麗な富士を望み、本市の景観の骨格軸を形成しています。その桂川から放射状に伸びる5つの支流は、それぞれに谷地形を形成しており、奥行き感のある谷筋景観を呈しています。

主要な平坦地は、桂川やその支流沿いに帯状に展開しています。また、桂川沿いには富士山の溶岩流による溶岩造形や永い年月をかけて形成された湧水地帯など、特徴的な地形も見られます。入り組んだひだ状の稜線と谷筋、溪流や滝など多彩な表情をみせる河川など、変化に富む地形構造が、本市の景観の基調を成しています。

■地形からみた景観構造



■土地利用からみた景観構造

本市の土地利用は、地形構造に即し、桂川沿いの平坦地に展開する市街地・住宅地、集落地や農地、支流の谷筋に分散立地する農村集落地、それらを取り囲む山地・森林に大別できます。

市のほぼ中央を流れる桂川の東側に、城下町から発達を遂げた歴史的な町割りが残る谷村地区と学園都市として形成されてきた都留文科大学周辺の新しい市街地が立地し、それらが連担し市街地景観を形成しています。桂川と支流の合流部周辺の平坦地には、住宅地や集落・農地、商業施設や工場等が混在し、郊外地景観を形成しています。また、その外縁部には農地の中に集落地が点在する田園集落景観が展開しています。

一方、谷筋に沿って細長く分散立地する集落地は、谷筋ごとに特徴のある山間集落景観をみせています。

土地利用からみると、市域の8割以上を山地森林景観が占め、細やかに伸びる山稜が谷筋ごとに景域を分節化する地形的な制約を反映し、桂川に沿って展開する市街地景観や郊外地景観、そのすぐ身近にせまる森林景観、奥行きのある谷筋に展開する山間集落地景観など、コンパクトで景域ごとに異なる表情を持つ景観が細長く連担している景観構造が特色となっています。

■土地利用からみた景観構造



②都留市が目指す景観構造

本市は、景観の基調を成す地形構造を今後とも維持・継承していくことを基本に、地形に即して展開する土地利用の整序を図りながら、面的なまとまりを形成している景観ゾーンや、多彩で魅力ある景観拠点を育成するとともに、景観拠点や景観資源を有機的に結びつけていくことにより、市全体として一体感のある景観構造の構築を目指します。

■都留市が目指す景観構造の考え方

●特徴的な地形構造に配慮し、効果的に活かします

本市の景観の基本的な土台を成しているのは特徴的な地形にあります。固有の風景資産や地域の多彩で魅力ある景観は、この大地の構造の上に築かれてきたものです。

景観形成にあたっては、この地形構造を尊重し、その容相を損なうことのないよう十分配慮します。

また、変化に富む山地や河川、重層する稜線と谷筋が創り出す眺望景観などは、景観構造を表す骨格的な要素として、効果的に活かす景観形成を目指します。



・山峡の特徴的な地形構造

●景観ゾーンの地域特性を活かします

地形に即して展開する土地利用も景観の基本構造を成し、地域景観の基調となるものです。また、土地利用に起因する景観は、人々の永きにわたる暮らしと営みに培われた地域らしさを映しだすものです。

こうしたそれぞれの地域が持つ景観特性を守り、活かすことにより、本市の面的な景観構造を形成することを目指します。



・コンパクトにまとまった市街地景観

●多彩な表情を持つ景観拠点の魅力を高めます

景観イメージを牽引する固有の風景資産や観光交流の場、市の顔となるまちなみなどは、景観形成の先導的な役割を担う拠点として、景観の質や魅力を高めます。

また、これらの拠点を中心として、周辺への良好な景観形成の波及効果と、協働による様々な取り組みや活動の展開を図り、市全体のイメージや魅力を高めていく景観まちづくりを目指します。



・豊富な湧水が流れ出る太郎・次郎滝

●景観拠点や景観資源を有機的に結ぶ景観軸（景観回廊）を創出します

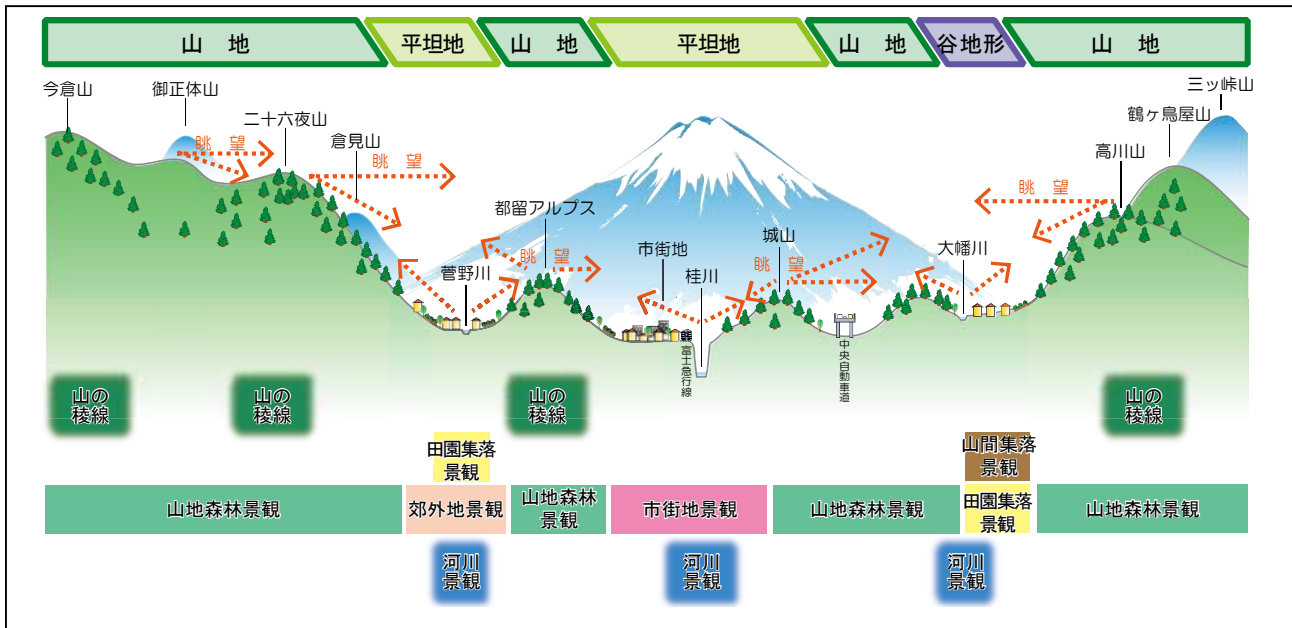
鉄道や主要な幹線道路は、本市の景観を移動しながら連続的に体感できる視点場であることから、交通景観軸として位置づけます。

また、市民や来訪者など、多くの人々が、本市の景観の魅力を体感し、親しみ、楽しむことができるよう、多彩な景観拠点や景観資源を有機的に結び、市を回遊する骨格的な景観ネットワークを「景観回廊」として創出します。



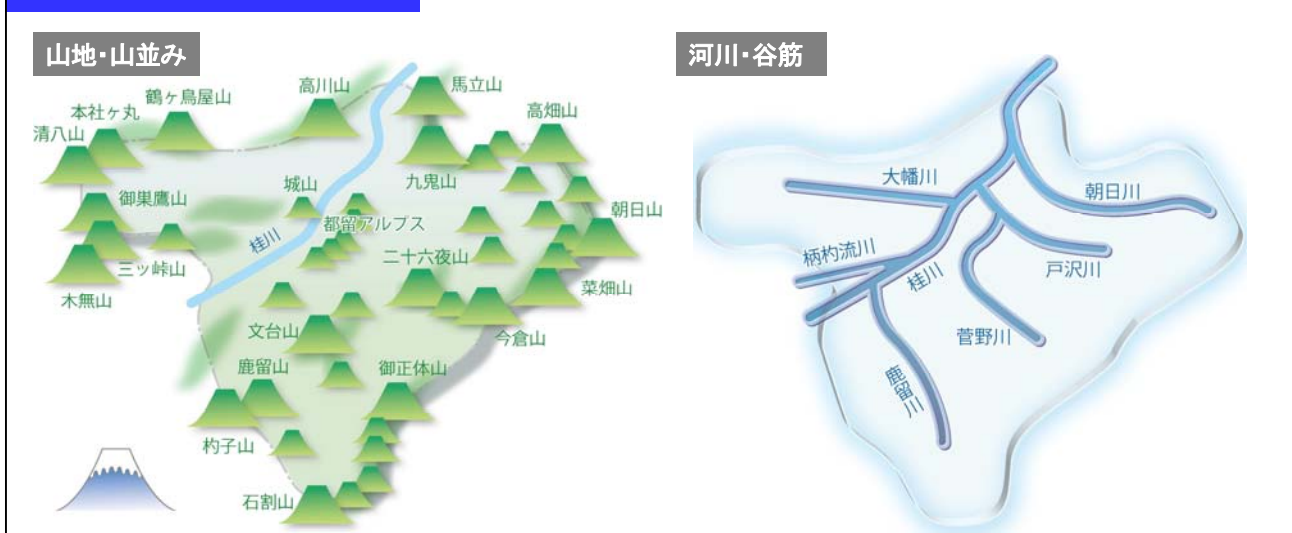
・富士急行線東桂駅周辺の桜並木

■地形構造の断面と景観ゾーンの区分(模式図)

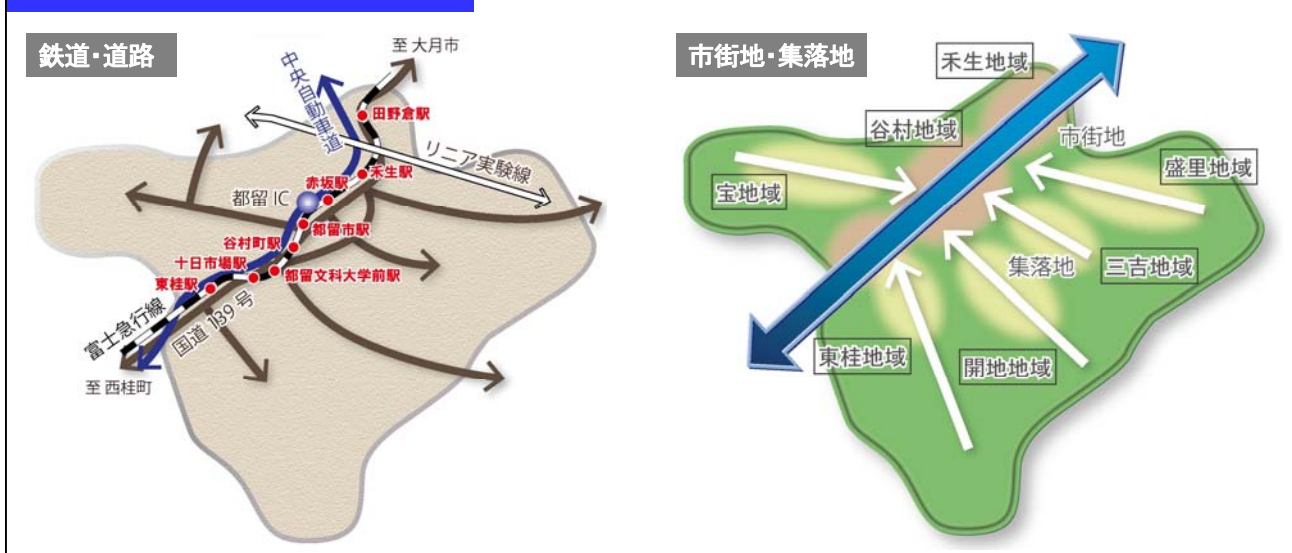


■景観構造の構築に向けた概念図

景観構造の基調を成す自然骨格



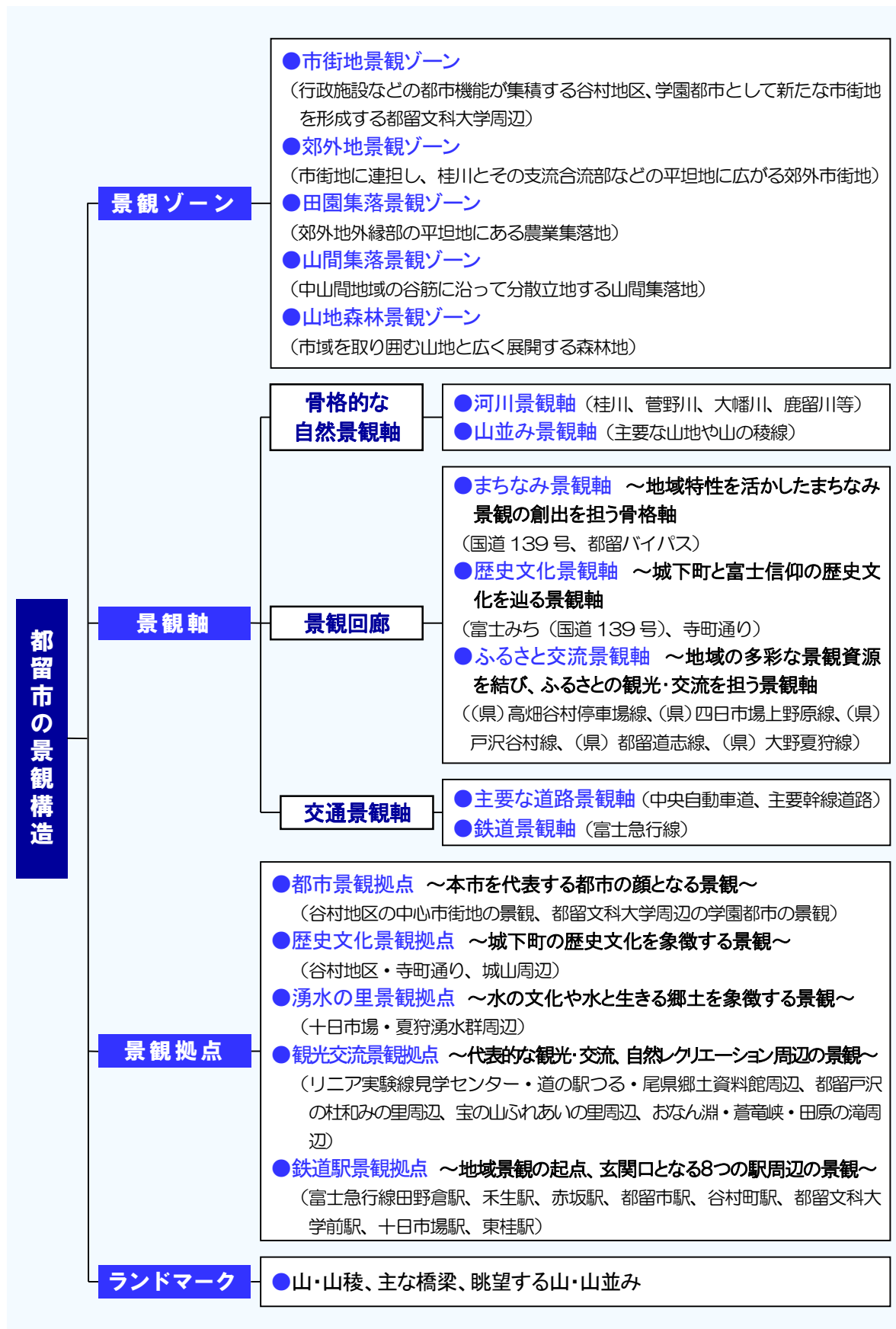
景観構造の表情を表す人為的な構造



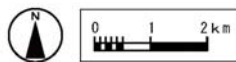
■景観構造の設定

景観の基本構造や本市が目指す景観構造の考え方を踏まえ、本市の景観構造を次のように設定します。

■景観構造の構成要素



■都留市の景観構造(市全体)



景観ゾーン

- 市街地景観ゾーン
- 郊外地景観ゾーン
- 田園集落景観ゾーン
- 山間集落景観ゾーン
- 山地森林景観ゾーン

景観軸

骨格的な自然景観

- 河川景観軸
- 山並み景観軸

景観回廊

- まちなみ景観軸
- ふるさと交流景観軸
- 歴史文化景観軸

交通景観軸

- 主要な道路景観軸
- 鉄道景観軸

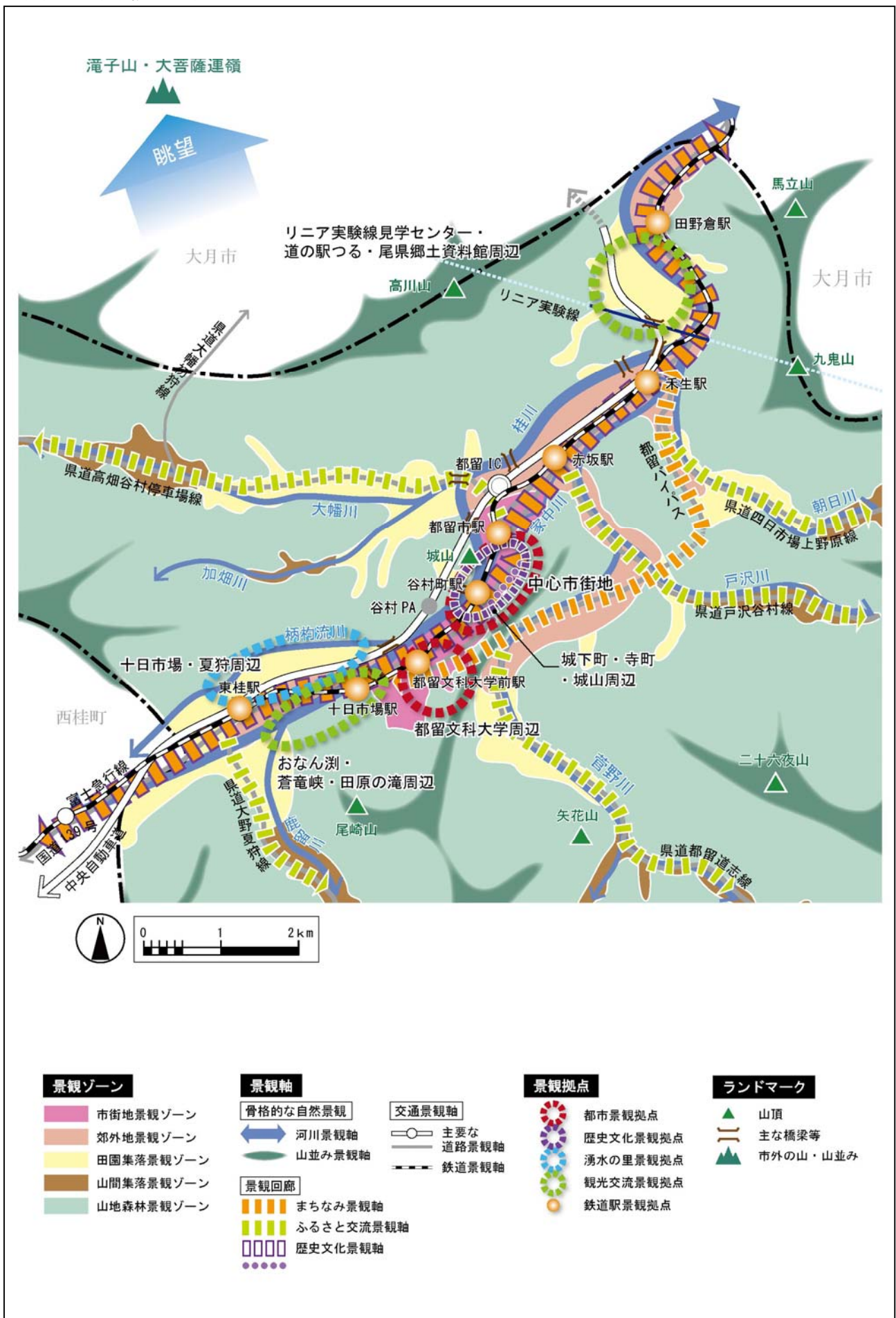
景観拠点

- 都市景観拠点
- 歴史文化景観拠点
- 湧水の里景観拠点
- 観光交流景観拠点
- 鉄道駅景観拠点

ランドマーク

- 山頂
- 主な橋梁等
- 市外の山・山並み

■都留市の景観構造(市街地周辺)



2. 景観まちづくりの方針

景観形成の基本理念や目標などを踏まえ、本市の景観まちづくりの指針となる基本的な方針を次のように設定します。

■景観まちづくりの基本的な方針

目 標	景観まちづくりの基本方針
●景観の基調をなす細やかな地形構造を尊重し、継承します	(1)特徴ある地形や山紫水明の景観を守り、活かす ①山峡の特徴的な地形構造を重視する ②暮らしに身近な里山・森林景観を守り、活かす ③佳景を育む清流と水辺景観を守り、活かす ④富士湧水の里の景観を守り、活かす ⑤豊かな自然と共生する景観を守り、育む
●固有の風景資産を活かし、多彩な表情が共鳴する魅力ある景観を育みます	(2)郷土の多彩な眺望景観を守り、育む ①郷土を印象づける優れた眺望景観を守り、活かす ②多彩な眺めを楽しむ眺望場所の魅力を高める ③眺望景観を交流・活性化や観光振興に活かす (3)先人たちの営みに培われた歴史文化資産を継承し、活かす ①富士の麓の小さな城下町の景観を継承し、活かす ②水のまちの文化的景観を継承し、活かす ③歴史文化が息づく景観を顕在化し、活かす (4)里地・里山・里水が織りなす農山村景観を守り、活かす ①地形に寄り添う農山村集落・里山景観を守り、活かす ②湧水に育まれた農の風景を守り、活かす ③里地・里山・里水を活かした農山村交流の景観を育む (5)地域の表情を映す、心地よさと魅力ある暮らしの景観を育む ①まちの顔となる中心市街地の景観の魅力を高める ②文化の薫る学園都市の景観を創る ③地域固有の表情を活かすまちなみ景観を育む ④連続して展開する景観を魅せる主要な道路周辺の景観を創る
●郷土景観の誇りを育み、交流・活性化の好循環に結びつく景観を創出します	(6)まちが元気になる、交流・おもてなしの景観まちづくりを進める ①地域の景観まちづくりを先導する公園や公共施設の景観を創る ②まちの玄関口となる鉄道駅周辺の魅力を高める ③伝統文化を体感する祭り・行事を継承し、活かす ④楽しみ交流するレクリエーション景観を活かす ⑤交流・活性化の好循環を育む景観回廊を創る
●景観を次代に引き継ぐ共感と協働による景観まちづくりをめざします	本目標は、景観まちづくりの方針全般に関わっており、取り組みの詳細は「第5章 計画の推進に向けて」に記載しています。

(1)特徴ある地形や山紫水明の景観を守り、活かす

① 山峡の特徴的な地形構造を重視する

- 富士山に向かって開けた山峡の特徴的な地形構造は、都留市らしさの基調を形成するとともに、人々の営みや歴史・文化を育んできたものであり、今後の景観まちづくりにおいて、基本となるものです。
- この、景観の基調となる地形構造と山紫水明の地を守り、市民共有の財産として未来へ継承することは、本市の景観まちづくりの大きな柱となります。
- そのため、様々な施設整備や地形改変等に際しては、自然地形への影響を最小限に抑え、地形に馴染むよう配慮します。また、山並みのスカイラインや緑の連続性、桂川に沿って展開する市街地景観や、流域ごとに特色ある谷筋の囲まれた景観に配慮し、建築物や工作物の適正な規制・誘導を図るなど、自然地形と調和した良好な景観の維持・保全を図ります。
- 一方、溶岩造形の上に培われた営みや、日々の暮らしと豊かな自然が隣り合う景観特性を踏まえ、細やかな変化に富む地形との親和性が充分に感じられる景観の保全に努めます。



・細やかな谷筋と山稜が重層する特徴的な地形構造

〈主な取り組み〉

- 自然景観との調和(開発等による擁壁や法面の景観への配慮、地形改変箇所への復元緑化や地域と調和した修景整備の推進、自然素材の活用等)
- 山並みやスカイライン等の優れた眺望景観への配慮(自然地形から突出しない配置・形態、意匠等の工夫)
- 桂川の河岸段丘の段丘崖や眺望景観の保全、崖線の斜面樹林と山地樹林が連なる緑の連続性の確保
- 富士山の溶岩造形や溶岩流の露頭、十日市場の特徴的な自然地形の保全と活用(ジオパーク学習、フィールドワーク等の研究・観察の場、子どもたちの地形・地学教室開催の検討、サイン類・遊歩道の整備等)
- 山の斜面・山林への太陽光発電施設の無秩序な設置に対する適正な規制・誘導 など

② 暮らしに身近な里山・森林景観を守り、活かす

- 周囲を山に囲まれた本市は、市域の8割を占める森林が自然景観の骨格を形成し、市街地や集落地のすぐ身近に里山・森林が接している点に大きな特徴があります。
- 里山・森林は、景観のみならず、水源涵養や自然災害の防止、温室効果ガスの吸収、林産業の場、保健休養やレクリエーションの場など、多面的な機能を持つ重要な自然資源です。また、身近な里山は、動植物の貴重な生息地であるとともに、四季折々に暮らしを彩る重要な景観資源でもあります。
- そのため、森林法等の法制度を活用するとともに、「都留市森林整備計画」に基づく森林の保全と適正な維持・管理を推進します。また、建築物や工作物等の適正な規制・誘導や景観を阻害する要因の改善を図り、郷土の豊かな里山・森林景観の保全に努めます。
- 一方、市民有志による都留アルプスのハイキングコース整備や、地域による里山再生を含めた山や緑の手入れが行われています。今後も、森の学校などにより人材育成を図り、協働による維持・管理に努めるとともに、暮らしの身近にある自然景観の魅力を活かし、森林の持つ多面的な機能の有効活用に取り組みます。



・暮らしに身近な里山・森林景観

〈主な取り組み〉

- 「都留市森林整備計画」、「都留市里地里山里水の保全及び活用に関する条例」に基づく里山・森林景観の保全と適正な維持・管理、里山・森林の手入れの充実(クズバ対策等)
- 都留市二十一秀峰など御坂山系や道志山系等に連なる山地森林景観の保全
- 河川沿いの緑や斜面樹林、市街地後背の里山・森林景観の維持・保全と連続性の確保
- 市街地後背の里山・森林を活用した自然を身近に感じる場づくり・レクリエーション活用(憩い・体験学習の場、自然散策ルート整備、健康づくりへの活用等)
- 登山道の整備、都留アルプス等のハイキングコースの充実と維持管理の充実、登山路へのアクセス強化
- 歴史・文化的価値の高い城山一帯の自然景観の保全、風致地区や緑地保全地区等の制度の活用検討、山頂や散策路の整備、市街地周辺からのアクセスルートの充実、サイン類の整備(間伐材を利用したレーザーカッターによるサインの製作)、駐車場の整備
- 大規模な擁壁、法面等の土木構造物、ガードレール等の道路構造物などの景観に配慮した整備の推進
- ごみの不法投棄や太陽光発電施設の無秩序な設置など景観阻害要因の改善と適正な規制・誘導 など

③ 佳景を育む清流と水辺景観を守り、活かす

- ・市の中央を貫流する桂川は、段丘地形をかたちづくり、河川上流方向に富士山をランドマークとして抱く本市の自然骨格を形成しています。また、桂川から放射状に伸びる5つの支流は、奥深い谷筋を形成し、滝や渓谷といった山紫水明の景勝地を創り出しています。
- ・このような水辺景観は、地域の成り立ちや営みと密接につながり、市民の暮らしに潤いや恩恵をもたらす重要な風景資産となっています。
- ・そのため、都留市らしい佳景を育んできたこの清流と水辺景観の維持・保全とともに、水のまちをイメージさせる大切な資源として景観まちづくりに活かしていきます。



・紅葉の鹿留溪谷

〈主な取り組み〉

- 清流の景観保全、国・県等と連携した水源地や涵養林の保全、水質保全事業の充実、下水道整備や合併浄化槽の普及促進による生活排水対策、上流・下流域連携による水質の維持
- 河川・水辺景観の維持・保全と先導的な修景整備、周辺の自然との連続性の確保
- 橋梁と渓谷美の維持・保全と活用、景観に配慮した河川構造物や橋梁デザイン
- 景観に配慮した親水性の高い河川整備の推進(親水空間・オープンスペースの確保、水と遊び・親しむ場づくり、水辺へのアプローチや散策路・休憩スポットの整備、河畔林など連続した緑の維持・管理、計画段階からの市民参加の促進、協働による環境美化活動の促進)
- 太郎・次郎滝や鹿留溪谷等の景勝地へのアクセス強化、おなん淵～蒼竜峡のフットパスづくり
- 河川や水辺を意識させる工夫の検討(河川景観の眺望確保、サイン類の設置、地域の意識啓発)
- 清流を守るルールづくり、上流域を含めた広域連携によるごみ対策、ごみの不法投棄など景観阻害要因の改善、建築物・工作物・屋外広告物等の適切な景観コントロール など

④ 富士湧水の里の景観を守り、活かす

- ・本市は、平成の名水百選にも選定された、富士の清冽な湧水が湧き出る「湧水の里」です。特に、十日市場・夏狩湧水群は、絶え間なく流れる富士の伏流水が希少な景観を見せています。また、湧水と共に暮らす営みの風景は、都留市らしさを象徴する景観の一つとなっています。
- ・この水の恵みとともに培われた景観は市民の心の拠り所ともなっており、これらの景観を守るとともに、周辺の良好な景観資源と結びつけながら磨きをかけ、本市ならではの富士湧水の里の景観の創出を図ります。



・湧水が降りそそぐ十日市場・夏狩湧水群

〈主な取り組み〉

- 豊かで清冽な湧水景観の保全と、十日市場・夏狩湧水群に代表される魅力ある「湧水の里」の景観の創出
- 十日市場・夏狩周辺の湧水群ツアーや水源地巡りのフットパスづくり、散策路・休憩スポットの整備、景勝地へのアクセス整備、太郎・次郎滝の駐車場・トイレの整備、蒼竜峡の展望スペースの整備、サイン類の整備
- 営みとともにある湧水地景観の周知・啓発（貴重な地形や歴史文化など周辺の景観資源との連携による魅力の向上、水資源を活用した体験型ツアーの確立、洗い場・水汲み場等の暮らしの中の潜在資源の活用、美味しい水コンテストの実施、案内・ボランティアガイドの育成、サイン・パンフレット等による情報発信の充実）
- 「都留市地下水保全条例」に基づく十日市場・夏狩湧水群周辺などの湧水地の保全、湧水や地下水を知るプログラムの実施・普及促進
- 「都留市里地里山里水の保全及び活用に関する条例」に基づく、広域連携による里地里山里水の保全と活用、水源の保全、水質保全事業の充実
- 「太陽光発電施設の適正導入ガイドライン」（山梨県）において立地に慎重な検討が必要なエリアとされている、十日市場・夏狩湧水群周辺への太陽光発電施設の適正な規制・誘導
- 太郎・次郎滝の景観保全に向けた除塵機の設置、十日市場・夏狩湧水群管理運営事業による太郎・次郎滝へのアプローチの美化、用水路の清掃、各戸排水管の改善など協働による環境美化活動の充実
- 河川や水路のごみ対策、生活排水対策やごみに寛容な地域の慣習の見直しなど景観を阻害する要因の改善、湧水地の景観から突出した印象を与える建築物・工作物、屋外広告物等の適切な景観コントロール

⑤ 豊かな自然と共生する景観を守り、育む

- ・豊かな自然が暮らしの身近に存在する本市では、希少な動植物と日常的に共生していることが景観的な魅力の一つとなっています。
- ・ムササビが滑空する市街地後背の樹林や里山、ホタルが舞う湧水や水辺、コサギの群生の飛来、アユやヤマメが棲む清流、野生の動植物と出会う登山路やハイキングコースなど、これら地域固有の生態系を維持し、自然と共生する景観を守り・育んでいくことが重要です。
- ・一方、本市は、市民が主体となった様々な保全活動が盛んです。生物多様性の豊かさを損なうことのないよう、郷土の自然景観を知り・大切に慈しみ、継承する協働による取り組みを進めていきます。



・ムササビウォッチング

〈主な取り組み〉

- 「都留市環境基本条例」に基づく循環型社会に向けたまちづくり、生物多様性の保全
- 「都留市里地里山里水の保全及び活用に関する条例」に基づく、広域連携による里地里山里水の保全、生態系の保全、環境教育の推進
- 施設・工作物整備における景観・自然・生態系に配慮した多自然工法や近自然工法の導入等
- 希少な動植物の生態調査と監視の強化、ムササビの生息環境など希少動植物の生息・生育・繁殖環境である森林・里山・水辺の適切な保全措置
- 自然に親しむ場の創出、意識啓発の促進(緑の募金事業による学校林の整備、緑の少年隊の育成等の自然教育活動の充実、動植物の観察会や体験学習の充実、サイン・パンフレット等による良好な生態系や景観エリアのPR)
- 協働による環境保全活動の促進(都留文科大学との連携による環境保全活動の促進、こども自然教室の充実、都留市環境保全市民会議やNPO 法人都留環境フォーラムなど市民活動と連携した環境保全活動の充実)
- ごみの不法投棄の防止、緑や水辺の適切な維持・管理 など

(2) 郷土の多彩な眺望景観を守り、育む

① 郷土を印象づける優れた眺望景観を守り、活かす

- 本市は、桂川とそこから枝状に展開する谷筋、1,000m級の急峻な山岳に囲まれた変化に富む地形構造から生まれる、多彩で優れた眺望景観を日常的に見ることができます。
- 山頂やトレッキングルート等からは、ひだ状に折り重なる山稜や雄大な富士山の遠望、波うつように重なる森林の緑とその間に点在する集落景観、里山とまちなみの風景、また、市街地に沿って走る国道や中央自動車道、その向こうにそびえる富士山、山地と田園の中を真っすぐに横切りニア実験線の高架橋など、本市ならではの眺望景観は市の大きな魅力の一つとなっています。
- この郷土を印象づける眺望景観を損なうことのないよう保全に努めるとともに、魅力ある景観まちづくりに活かしていきます。



・都留市二十一秀峰である御正体山からの富士山の眺望

〈主な取り組み〉

- 富士山の眺望景観の保全と活用
- 大規模開発や土地の改変、森林の伐採等における適正な規制・誘導
- 建築物や工作物・土木構造物・屋外広告物等の周辺景観への配慮(優れた眺望の確保に向けた高さ・配置・意匠・形態・色彩等の景観コントロールなど)
- 鉄塔や太陽光発電施設の無秩序な設置など眺望景観を阻害する要因に対する適切な景観コントロール
- 優れた眺望景観の保全に向けた森林、斜面樹林、里山等の維持・管理、緑の連続性の確保 など

② 多彩な眺めを楽しむ眺望場所の魅力を高める

- 本市は、身近に豊かな自然と接し、多彩な眺望が得られることが景観的な特徴の一つとなっています。多くの人々が往来する道路や鉄道、視界が開けた河川沿いなども、良好な眺望場所の一つとなります。
- このような眺望場所は、日常の中ではあまり意識されず、潜在化しているところが多くあります。また、場所によっては、眺望場所そのものが見られる対象であることを意識することも必要です。
- 眺望景観は、都留市らしさを牽引する重要な景観資源です。そのため、本市固有の眺望景観を保全するとともに、良好な眺望場所については、見られる対象としての修景整備や景観阻害要因の改善に努め、多彩な眺めを楽しむ場の魅力を高めていきます。



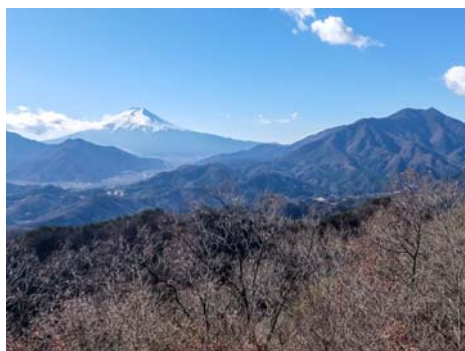
・城山の桜と眺望スポット

〈主な取り組み〉

- 良好な眺望場所の保全、潜在的な眺望場所の発掘と活用(道路・公園・橋詰め等の眺望点、登山道やハイキングルートの眺望点、山頂、烽火台など)
- 良好な眺望場所の修景整備、老朽化・錯綜するサイン類の統合整序、案内を含めたアクセスの向上
- 眺望場所の特性に応じた快適な滞留空間づくり(視界の確保、小広場・休憩施設・サイン類の整備、駐車場の整備)
- 都留ビューポイントの選定(絵になる写真コンテスト、ビューマップづくり等によるPRの充実等)
- 建築物・工作物等の高さ・配置・意匠・形態・色彩等の適正な規制・誘導による良好な眺望景観の確保
- 電線・電柱・鉄塔類、屋外広告物等の眺望阻害要因の改善、景観阻害樹木の伐採、緑の維持・管理 など

③ 眺望景観を交流・活性化や観光振興に活かす

- 変化に富む本市の眺望景観は、風景と合わせて体感する音・風・匂い、また四季の移ろいといった季節感などを含め、市民にとっては心象風景として深く心に刻まれます。また、来訪者にとっては、本市のイメージを強く印象づける重要な観光資源となります。
- そのため、暮らしの中で身近に存在する眺望景観は、市民にとっても来訪者にとっても普遍的な風景資産であることを認識し、地域交流・活性化や観光振興に資する魅力資源として景観まちづくりに活かしていきます。



・高川山からの眺望

〈主な取り組み〉

- 場の特性に応じた眺望場所・滞留空間づくり、サイン類の整備、アクセスの向上
- 特色ある眺望景観の魅力の向上とPRの充実(太郎・次郎滝等の湧水群、都留アルプスをはじめ登山道やハイキングコースからの眺望、田原の滝の眺め、城山からの眺望、川茂の風景、田園とリニア実験線の眺め等)
- 富士山や都留市二十一秀峰等の眺望、渓谷や水辺の四季折々の景観等の活用
- 富士急行線の活用(植栽等による沿線の景観形成、各駅周辺の良い景観資源と眺望スポットのPR)
- 眺望を楽しむルートづくりや企画の検討(多様な景観資源と眺望景観を結びつけた眺望巡りの体験ツアー、フットパス、エコツーリズム等)、インターネット・SNS等を活用した効果的なPR・情報発信の充実 など

(3) 先人たちの営みに培われた歴史文化資産を継承し、活かす

① 富士の麓の小さな城下町の景観を継承し、活かす

- ・ 郡内唯一の城下町が築かれた谷村地区は、大火により歴史的まちなみを消失してしまいましたが、城跡や水路、城下町の町割などに往時の面影をしのぶことができます。
- ・ また、「城下町つる」のシンボルである城山（勝山城跡）と富士の眺望、寺町と水路の風情、烽火台の遺構など、重層する時代の歴史文化的遺構は、その価値を再認識し、本市固有の大切な風景資産として次代へ継承するとともに、市民の郷土景観への愛着や誇りを育くむことにつなげていくことが重要です。
- ・ 本市は、これまで「歩きたくなる城下町」としてウォーキングトレイル事業により、谷村地区の文化財や史跡等を巡る歩行者空間の整備、家中川・寺川の修景整備等を進めてきました。
- ・ 今後も、歴史文化的遺構の保全を図るとともに、周辺景観との一体的な修景に取り組み、谷村地区一帯を本市の歴史文化景観拠点として、城下町の歴史を象徴する景観まちづくりを推進していきます。



・ 屋台展示庫前の八朔提灯やぐら

〈主な取り組み〉

- 「つる観光戦略」に基づく「つる観光」の創出
- 黒塀プロジェクトや屋台展示庫前の八朔提灯やぐらなど城下町テイスト事業の推進、谷村地域協働のまちづくり推進会の「谷村八景」事業の促進
- 城下町の歴史文化的景観の保全、城下町の町割りと水路の保全、町名・由縁の活用、潜在的資源の顕在化
- 城山の修景・眺望広場・散策路整備、統一したサイン類の設置、歴史公園化の検討、アクセスの向上
- 一定のルールや適正な規制・誘導による城下町の歴史的まちなみ景観の形成（路地やまちかどの修景等）
- 寺町通りの歴史的まちなみ景観の形成（社寺や町家の歴史的まちなみづくり、湧水の散策路、サイン整備等）
- 富士山方向の眺望・見通しの確保、良好な眺望場所の顕在化と修景整備、眺望広場の整備
- 社寺、旧家・古民家、土蔵等の歴史的建造物や往時の面影を伝える建造物の適切な維持・保全
- 地域に応じた水路の修景整備（自然石、擬岩、擬石による修景、水辺の花や緑による修景等）
- 歴史文化的景観資源近傍における建築物や工作物の適切な景観コントロール、景観阻害要因となる廃屋・空き家対策、屋外広告物等の適正な規制・誘導
- ミュージアム都留を起点とした城下町体感ツアー、寺町巡りのルートづくり、城下町・寺町巡りフットパスの充実
- 都留郷土史研究会等を活用した案内ボランティアの育成、歴史文化の継承を担う子どもたちの歴史探訪教室の開催、パンフレット等によるPR・情報発信の充実 など

② 水のまちの文化的景観を継承し、活かす

- ・ 本市は、古来より様々な水と関わり合いながら暮らしを営んできました。「湧水の里」を象徴する十日市場・夏狩湧水群をはじめとして、発電所や水路橋、堰等の治水・利水の産業遺構、城下町の堀水や水車の動力源として用いられた用水路が巡る景観、暮らしを支えた甲斐絹織物や農の風景もまた、水のまちの文化的景観といえます。
- ・ こうした水との関わりを表す景観は、本市独自の生活や慣習などにより、長い時間をかけて育まれてきたものです。そのため、水のまちの歴史性を市全体で共有・継承し、文化の蓄積が感じられる固有の景観として、景観ま



・ 生活の中にある小水力発電の水車

ちづくりに活かしていきます。

- ・近年では、家中川に“元気くん”の愛称で呼ばれる小水力発電施設を設置し、再生可能エネルギーの利用とその啓発・普及に取り組んできました。しかし、小水力発電施設は水力によるエネルギーを利用できる一方で、設置場所によっては水辺景観との不調和、まちなかでの騒音発生といった課題も考えられます。設置にあたっては、地域景観に違和感を生じない配置や修景に配慮した上で、水のまちの歴史文化を表すような景観となるよう十分留意します。

〈主な取り組み〉

- 家中川へ設置した小水力発電システム(元気くん)の維持管理、市民団体との連携強化
- まちなみと調和した家中川、寺川、中川等の親しみある景観整備、水の文化を象徴する景観まちづくりへの活用
- 水路が巡る市街地のまちなみ修景(蓋がけ水路の見直し検討等)、サイン類の整備と統合整理
- 駒橋発電所や川茂発電所、落合水路橋、鍛冶屋坂水路橋等の地域のランドマークとなる近代化遺産の維持・保全、文化的価値の周知、河川景観や景勝地を象徴する景観資源としての景観まちづくりへの活用
- 水と関わる営みを伝える文化的景観の活用(甲斐絹など伝統産業の保全・継承、水車による精米や機織りなど固有の生業体験、文化的価値の積極的な情報発信・PRの充実、景観まちづくりへの活用)
- 水の文化を巡るルートづくり、フットパスの充実、水文化と景観資源のネットワーク化、水のまちをPRするマップの作成
- 水環境の保全(水質・流量等)と景観に配慮した維持・管理、用水路のごみ対策など景観阻害要因の適正な規制・誘導

③ 歴史文化が息づく景観を顕在化し、活かす

- ・本市は、土地の記憶や地域の成り立ちなど、時を積み重ね景観に奥行きという価値を与える、歴史文化を象徴する景観資源が数多く残されています。
- ・信仰の道である富士道や郡内地域の中心として周辺都市を結んだ古道・旧道は、人やモノ、文化が行き交った風景を追体験することができる貴重な景観資産です。そのため、歴史的道筋の価値の顕在化に努めるとともに、場の特性を踏まえた修景と景観まちづくりへの活用に努めます。
- ・尾県郷土資料館など歴史文化を象徴する建造物については、適切な維持・保存と、観光や景観まちづくりへの活用を図ります。
- ・地域に由縁を持つ社寺は、大木や古木、鎮守の森や里山を背負い、古くから地域のランドマークとして、郷土の素朴な信仰心に寄り添いながら大切に守られてきました。そのため、人々の拠り所として守られてきた社寺の価値を再認識し、周辺の景観も含めた保全・継承と、地域コミュニティの核となるよう景観まちづくりへの活用に努めます。
- ・その他、道祖神や石仏、塚・祠、土地の記憶や由来に結びつく地名など、身近な自然や暮らしに溶け込んだ歴史文化が息づく資源は、地域景観の個性を磨く大切な資産として顕在化に努め、魅力の向上と景観まちづくりへの活用を図ります。



・西願寺のしだれ桜

〈主な取り組み〉

- 落合水路橋、旧明治医院、商家資料館など文化財・史跡及び周辺景観の保全と活用（適切な維持・管理、眺望景観の確保、歴史公園化の検討、サイン類の整備と統合整理、周知・PRの充実）
- 勝山城跡、谷村陣屋、尾県郷土資料館、田原の滝、蒼竜峯など「やまなしの歴史文化公園」に位置づけられた良好な景観エリアの保全、観光や景観まちづくりへの活用
- 歴史的道筋の顕在化と活用（信仰の道・古道・旧道の顕在化、周辺のまちなみの修景、散策ルートづくり、統一したサイン類の設置、地名・町名ガイドブックの作成、休憩・眺望スポットの整備、周知・PRの充実）
- 往時の文化や繁栄を伝える歴史的建造物の維持・保全と活用（歴史的建造物の調査、修理・修景への助成検討、観光PR・地域交流空間としての活用等）
- 寺町・社寺の保全と活用（社寺林・参道の保全、水路の維持、後背の鎮守の森・里山との一体的な保全）
- 潜在的な資源の掘り起こし、道祖神、塚・祠、大木・古木、保護樹木等の暮らしに身近な歴史文化資源の顕在化と活用（場所の特性を踏まえた修景、ふるさとの散歩道やフットパスづくりへの活用、サイン類の整備等）
- 歴史文化的景観周辺の建築物・工作物、開発、屋外広告物、廃棄物等の適正な規制・誘導
- 歴史探訪ツアー開催等の交流機会や周知・啓発の充実、「谷の町、史の里案内人」などボランティアガイドの育成、都留文科大学との連携による地域文化研究の促進、学校等での郷土教育・地域を学ぶ機会づくり など

（4）里地・里山・里水が織りなす農山村景観を守り、活かす

① 地形に寄り添う農山村集落・里山景観を守り、活かす

- 本市の集落地は古くから形成されたものが多く、桂川の支流の谷筋に、地形のひだに寄り添うように分散立地し、それぞれに自然と共生した独自の集落景観を見せています。
- このような永い営みの中で形成されてきた集落や里山の景観は、郷土の原風景を象徴する大切な風景資産です。
- しかし、近年においては、集落の人口減少や少子高齢化等を要因とした過疎化の進行により、集落固有の文化の衰退や伝統的な集落景観の喪失が懸念されています。
- そのため、地形に寄り添う集落のたたずまいや秩序感を損なうことのないよう、周辺の自然景観との親和性を尊重し、営みも含めた固有の文化や素朴で懐かしい景観の保全に努めるとともに、郷土の原風景を次代に受け継ぐ集落景観の維持と魅力の向上を図ります。



・自然と共生する集落・里山景観

〈主な取り組み〉

- 「都留市農村地域整備計画」、「都留市森林整備計画」に基づく農山村・里山の保全と維持・管理の推進
- 森林環境譲与税を活用した取り組みの推進（都市部向け環境教育の充実、林業担い手不足の解消、つる観光とのマッチング）
- 多面的機能支払交付金制度や緑の募金制度を活用した地域ぐるみによる農地・里山の保全、「多面的機能支払い交付金制度」による農村環境保全活動に取り組む地域の拡大
- 「都留市里地里山里水の保全及び活用に関する条例」に基づく、広域連携による里地・里山・里水と集落・里山景観の保全と活用
- 集落地の家並み、伝統様式の民家・蔵の維持・保全、歴史的風致と調和する集落景観の魅力の向上
- 集落景観を構成する景観資源の維持・保全（地形に沿う小径、石垣、湧水、小川・水路、鎮守の森等）
- 空き家や古民家を活用した田舎暮らし、民家民泊、里山ツーリズムの促進、地域交流スペースとしての活用
- 森林・里山と調和した集落形態の維持、山際や水辺・里山に隣接する建築物・工作物等の適正な規制・誘導
- 荒廃農地の非農地化と山へ戻す手法の検討、廃屋・空き家対策、太陽光発電施設の適正な規制・誘導

② 湧水に育まれた農の風景を守り、活かす

- ・農地は、生活を支える農業生産の場であるとともに、暮らしに季節感や緑の潤いを与えてくれる貴重な景観資源でもあります。
- ・十日市場・夏狩周辺は、特産物である水掛菜やわさびの栽培風景が湧水群の景観をひきたて、また、大原や厚原、川棚の南原にはまとまった田園景観が広がっています。
- ・一方、地形的な制約から本市は小さな耕作地が多く、近年は農地の虫食いの的な開発や遊休農地の増加など、水の文化とともに培われた“農”の景観の荒廃が懸念されています。
- ・そのため、豊富な湧水に育まれた固有の農の風景を守り、農の魅力を活かす景観まちづくりを進めます。



・湧水が育む水掛菜の栽培風景

〈主な取り組み〉

- 「都留農業振興地域整備計画」に基づく優良農地の保全、景観に配慮した農業基盤整備の推進（用水路、石垣、農道等）、大原や厚原周辺、十日市場・夏狩周辺の一団の優良農地の維持・保全
- 湧水を活用した水掛菜やわさび田の農地景観の維持・保全
- 観光資源としての農地の活用（湧水群を活かした一体的な修景整備、川茂周辺の桜と桃の風景づくり、観光農業の振興、フットパスの検討、中央自動車道や富士急行線等の車窓からの風景の有効活用、PRの充実等）
- 道の駅つるを核とした農林漁業の振興（農林産物直売所の整備・運営、農産物の高付加価値化、特産品の開発、農林産物のブランド化の推進、6次産業化の推進、地産地消の推進）、アグリビジネス特区の検討
- 鳥獣被害対策実施隊の設置、「都留市鳥獣害防止計画」に基づく総合的な鳥獣害対策の促進
- 荒廃農地の現地調査の推進、新規就農者への斡旋や景観緑地としての活用など「都留市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画」に基づく遊休農地の有効活用、県の補助事業を活用した遊休農地解消の促進、農業の担い手の育成
- 農地周辺の里山・雑木林・水路等の適正管理、水質の維持・保全、ごみの不法投棄・野だて看板や太陽光発電施設・工作物・廃屋等の適正な規制・誘導 など

③ 里地・里山・里水を活かした農山村交流の景観を育む

- ・本市は、「戸沢の森和みの里」や「宝の山ふれあいの里」での里山体験、「道の駅つる」を核とした農の体験教室や市場の開催、子どもたちによる農業体験塾の実施、また、都留文科大学と地域の協働によるフィールドミュージアムの活動など、里地・里山・里水を活かした多様な交流活動が積極的に行われています。
- ・郷土の農山村景観を守り、活かすため、このような活動が人口増加やコミュニティの維持、地域振興や観光振興につながるよう、地域交流の輪を広げるとともに、都市と農山村の交流を深め、地域が元気になる景観まちづくりを進めます。



・どろたんぼまつり（宝の山ふれあいの里）

〈主な取り組み〉

- 「都留市農村地区活性化計画」に基づく農業体験プログラムの導入、地域活力の向上
- 里・山・水・食・人などに関わり交流する機会の充実、都市と農山村の交流・観光・活性化拠点の創出
- 郷土の環境・農山村を活用した交流の促進（農山村・里山体験、農業体験・林業体験・環境教育の促進、グリーンツーリズム・里山ツーリズムの促進、湧水と農と里山を巡るフットパスツアー・イベントの充実等）
- 農を通じた交流の促進（つるマルシェ・じよいつる市場の充実、市民農園・体験型農園・観光農園の充実、アグリツーリズム・観光農業の促進、地産地消の促進、道の駅つるや谷村 PA を活用した PR の充実等）
- 都留文科大学と連携したフィールドミュージアム活動の充実、里地・里山・里水を活用した地域交流の促進
- 地域活動情報の冊子・マップの作成、PR・情報発信の充実、地域交流活動への支援 など

(5) 地域の表情を映す、心地よさと魅力ある暮らしの景観を育む

① まちの顔となる中心市街地の景観の魅力を高める

- 本市の中心市街地である谷村地区は、郡内地域唯一の城下町から発達した歴史性を有し、町割りなどに往時の面影を感じることができます。また、桂川に沿って形成された市街地は、川沿いの斜面樹林と後背の樹林の緑に囲まれ、身近に豊かな自然と共生するコンパクトな市街地景観をみせています。
- 
- ・城山から見るコンパクトな中心市街地の景観
- 一方、中心市街地は、空き家・空き地が増加するとともに狭小な歩行者空間が多く、国道 139 号沿いの中心商店街は、空き店舗の増加など、賑わいの衰退やまちなみの混乱が顕在化してきています。
 - 中心市街地の景観まちづくりを推進することは、まちの顔として市全体の印象を高めるとともに、景観形成の先導的役割を果たすことにつながります。また、その波及効果が、定住・移住促進や人口増加に結び付くことが期待されます。
 - そのため、身近に自然や里山を擁するコンパクトな市街地景観を維持するとともに、趣ある町割りや河川・水路等を活かし、城下町の歴史的背景やまちの成り立ちを尊重した、都市景観拠点にふさわしい魅力あるまちなみ景観の形成を図ります。
 - また、誰もが安心して、本市の顔となる中心市街地の景観を楽しみ、魅力を体感し回遊できるよう、セーフコミュニティの理念のもと、安全・安心な歩行環境など、ゆとりある空間の確保に努めています。

〈主な取り組み〉

- 谷村地区の歴史的背景を踏まえた整序感のあるまちなみ景観の形成（城下町の町割りや山あて等を活かした景観形成、都市計画道路の見直し等）、黒堀プロジェクトや屋台展示庫前の八朔提灯やぐらなど城下町テイスト事業の推進
- ランドマークとしての城山の活用、城山・寺町と水路・市街地をつなぐ歴史的景観づくり
- 市街地の背景となる里山・森林景観の保全と調和、斜面樹林やまちなかの緑を連続させた緑豊かな景観の形成
- 家中川、寺川、中川の親水空間の創出と修景、豊かな水と水の文化を活かすまちなみ景観の形成（湧水、小水力発電の活用等）、身近な緑化の推進
- 一定のルールに基づく建築物・工作物等の景観コントロール
- 「都留市空き家等対策の推進に関する条例」に基づく空き家の適正な規制・誘導、補助等を活用した老朽家屋対策
- 景観まちづくりに向けた空き家・空き地の有効活用（身近な公園、ポケットパーク、休憩スポット、地域交流スペース、駐車場確保等）、まちかど修景ネットワークによる景観形成
- 景観まちづくりを契機とした中心商店街の活性化、観光施策との連携による賑わいの創出
- 中心商店街の賑わい景観の形成（空き店舗や空地を活用した賑わいスポット・駐車場整備、歩行空間・滞留空間の確保、まちなみの統一感と連続性の創出、屋外広告物等の適正な規制・誘導、特色ある緑化等）
- 身近な景観資源の顕在化と活用（信仰の道・街道筋、民家・蔵等の歴史的建造物、城下町の町割りと路地・水路、地名や町名、周囲の山並みや富士山の眺望）、資源を結ぶまちなかフットパスの整備、サイン類の整備 など

② 文化の薫る学園都市の景観を創る

- 都留文科大学周辺は、総合運動公園やうぐいすホールといった公園や文化施設が集積し、本市の学術文化の中心となっており、多くの学生が行き交う学園都市の景観をみせています。また、都留文科大学前駅周辺は、大規模商業施設が立地する新たな賑わい景観を生み出しています。
- 一方、都留文科大学周辺は、大学の活動の一つであるフィールドミュージアム研究エリアとして、地域資源を活用した様々な交流活動が行われています。都留文科大学の研究・活動・人材は、本市の景観まちづくりにおいても貴重な知的資源となっています。
- そのため、都留文科大学周辺については、多くの人の意識が集まる先導的・効果的な景観まちづくりに取り組む都市景観拠点として、文化の薫る学園都市にふさわしい、文化的で整序感のある景観の創出に取り組んでいきます。



・都留文科大学周辺のまちなみ

〈主な取り組み〉

- 都留文科大学周辺の良好な風致の保全、背景となる里山樹林の連続性に配慮した景観コントロールの推進、良好な眺望景観の確保、集約された施設周辺の景観形成など学園都市の整序感あるまちなみ景観の誘導
- 周辺環境と調和した都留文科大学のキャンパス整備(新棟の整備)や新しい南都留合同庁舎・生涯活躍のまち・つる事業周辺の修景整備、適切な土地利用と建築物の景観コントロールなど良好な景観まちづくりの推進
- 周辺の景観資源の連携による魅力の向上(水路の活用、景観資源を結ぶルートやフットパスづくり等)
- 大学と地域連携による景観まちづくりの促進
- 都留文科大学地域交流研究センター(大学と地域をつなぎ地域づくりの活動と研究に取り組む拠点)の交流・協働型の研究プログラムの充実、フィールドミュージアム研究エリア(総合運動公園周辺)の保全や維持・管理など景観まちづくりにおける連携強化
- 都留文科大学前駅周辺の賑わいと活気ある良好な市街地景観の形成、駅周辺の建築物等の高さ・意匠・色彩などの適切な景観コントロール、屋外広告物等の適正な規制・誘導、景観の整序と環境美化の推進など

③ 地域固有の表情を活かすまちなみ景観を育む

- 本市は、山峡の起伏に富む地形構造により、市域が地形的に分節化され、それぞれに個性のある景観が展開しています。
- 市街地や郊外地の多くは、古くからの暮らしぶりが色濃く残るまちなみ景観となっています。一方、住宅の密集や空き家・空地の増加に加え、市街地縁辺部では農地への分散的な宅地化の進行、商業施設や工場・農地・住宅地の混在など、まちなみ景観の混乱もみられます。
- また、地形のひだに寄り添うように分散立地する農村集落は、昔ながらの慣習や秩序を保ちつつ、それぞれの集落ごとに表情の異なる集落景観をみせています。
- 本市の景観形成においては、こうした地域の景観的な特性を尊重し、活かしていくことが大切です。そのため、地域の成り立ちや固有の景観特性に応じ、住む人の暮らしやすさや心地良さに配慮しつつ景観的な秩序や調和を維持し、地域の表情を魅力ある景観として活かすまちなみ景観を育てていきます。



・朝日馬場の集落景観

〈主な取り組み〉

- 暮らしやすさや心地よさを感じる景観の創出(身近な自然景観との調和、斜面樹林や後背の里山樹林等との緑の連続性の確保、まちなみ景観や集落景観の整序感の形成、地域にふさわしい緑化の促進等)
- 地域の成り立ちやたたずまいの尊重(地形に即した一体感・まとまり感の維持、趣を損なわない景観的な配慮)
- 地域固有の景観資源を活用したまちなみ修景、身近な景観資源の顕在化と景観まちづくりへの活用
- 水と共生する暮らしの景観の魅力向上、湧水・河川・水路の水質等の維持・管理、美化・清掃活動の充実等
- 良好な眺望景観の確保と眺望場所の創出(建築物・工作物等の適切な景観コントロール、まちなみ全体の調和)
- 密集住宅地の防災性を考慮した景観まちづくりの促進(建物更新時の建築物・工作物等の適切な誘導、オープンスペースの確保、狭あい道路の改善、沿道の緑化・生け垣化の促進等)
- 宅地化が進行する地域の秩序あるまちなみ景観の誘導(計画的な土地利用に基づく無秩序な宅地化の抑制、適切な開発コントロール、周辺の自然景観や農地・里山景観との調和)
- 集落景観を特徴づける資源の保全(民家の家並み、蔵や石垣、鎮守の森、屋敷林、水路、社寺や道祖神等)
- 整序感のある工業産業地景観の形成(圧迫感や威圧感を与えない景観的な配慮、大規模建築物の分棟化、自然景観との調和、オープンスペースや緩衝緑地帯の確保、敷地内緑化等)
- 公営住宅の先導的な景観形成
- 「都留市空き家等対策の推進に関する条例」に基づく空き家の適正な規制・誘導、景観まちづくりに向けた有効活用
- 一定のルールに基づく建築物・工作物等の適正な規制・誘導、地域のまちづくりルールを尊重した修景整備
- 山梨県条例に基づく屋外広告物の適正な規制・誘導、無秩序な太陽光発電施設の規制・誘導、ごみのポイ捨て・不法投棄対策など景観阻害要因の改善・誘導 など

④ 連続して展開する景観を魅せる主要な道路周辺の景観を創る

- 道路は、日常的に多くの人が行き交い、地域景観を望む最大の視点場であり、次々と連続して展開する景観を楽しむことができます。中央自動車道や国道 139 号は道路軸方向に富士山を遠望する本市の骨格的な景観軸であり、本市の玄関口にもなっています。また、中心市街地を縦貫する国道 139 号は、信仰の道として沿道にはかつての街道筋の面影も残されています。



・都留バイパスの沿道景観

- 一方、谷筋や山峡を走る主要な道路は、沿道のまちなみ景観や連続して展開する景観を通して地域を印象づける重要な景観軸であり、周辺景観との調和や地域特性に応じた配慮が必要となります。
- そのため、主要な道路については、安全性と快適性を第一としつつ、沿道に展開するまちなみ景観や眺望景観等を体感する視点場としての魅力の向上と良好な道路景観の創出に努めます。

〈主な取り組み〉

- 景観に配慮した道路の修景(国道 139 号や主要な景観軸、谷村本通り線や姥沢川通り線など景観形成上重要な路線の「景観重要公共施設」への位置づけ、沿道の景観資源の活用、景観に配慮した防護柵・道路付属施設・法面对策施設の整備や修景、植栽等による修景)
- 「橋梁長寿命化修繕計画」に基づく主要な橋梁の補修・補強整備と山梨県景観アドバイザー制度等を活用した修景整備、計画的な維持・管理の推進
- 地域特性に合った周辺景観に調和した沿道のまちなみ景観の形成
- 国道 139 号をはじめとする主要道路の安全な歩行空間の確保、地域特性に応じた沿道のまちなみ景観の整序、賑わい景観の創出
- 中央自動車道都留 IC 周辺のまちの玄関口としての景観形成
- ランドマークとなる富士山や主要な山河の良好な見通しの確保、良好な眺望景観と視点場の確保
- 道路整備と併せた景観上重要な箇所の無電柱化の推進、標識・サイン類の統合・整理
- 沿道の建築物・工作物、屋外広告物等の適正な規制・誘導、ゴミのポイ捨て対策など景観阻害要因の改善による良好な沿道景観の形成 など

(6) まちが元気になる、交流・おもてなしの景観まちづくりを進める

① 地域の景観まちづくりを先導する公園や公共公益施設の景観を創る

- 総合公園や楽山公園等の公園・広場は、地域住民の交流の場やレクリエーションの場、また、地域のランドマークとなっています。一方、市街地や集落地では身近な公園・広場が不足している状況です。

- 公共公益施設は、日常的に不特定多数の人が利用し、その多くは地域のシンボルやランドマークとなっており、それだけに、景観に及ぼす影響は大きなものがあります。

- そのため、公園や公共公益施設については、地域の景観まちづくりの先導役として、地域特性やまちなみ景観との調和を前提としつつ、一定のシンボル性を担う質の高い景観の創出に努めます。



・楽山公園周辺の景観

- また、本市は河川水辺空間や公園、ポケットパークなどにおいて、各自治会や地域協働のまちづくり推進会等による清掃美化活動や施設の維持・管理等が活発に行われています。

- そうした活動との連携を図りながら、利用者の愛着と親しみが育まれるよう、協働による維持・管理などにより、公園や公共公益施設の魅力の向上に努めます。

〈主な取り組み〉

- 身近な交流拠点としてのまちなかの小公園や広場・緑地の整備、水辺の公園づくり、地域の自然資源や水辺空間、歴史性を活かした修景（市街地の未利用地や遊休農地、河川敷等の積極的な活用）
- 総合運動公園、楽山公園の緑の拠点としての景観形成、総合運動公園周辺のフィールドミュージアム活動と地域交流の場の充実
- 楽山風致公園の桜の名所づくり事業の推進
- 田原の滝の景観保全と周辺整備、蒼竜峡の眺望場所の整備
- 観光交流景観拠点周辺の場の特性を踏まえた質の高い修景、宝の山ふれあいの里や戸沢の森和みの里等の施設の維持・管理の充実、自然景観の維持・保全、緑の連続性や眺望景観の確保、わかりやすいサイン類の設置、特色ある緑化
- 主要な公園や施設周辺の駐車場・休憩スポットの整備、サイン類の整備、アクセスの改善
- 周辺景観と調和した魅力ある施設デザイン、眺望景観への配慮、県産材等の利用促進、適切な維持・管理
- ミュージアム都留の景観まちづくりへの活用（施設周辺の修景、八朔祭屋台展示庫との連携と屋台幕の活用、まちなかを回遊するレンタサイクル・シェアサイクルの活用、まち歩きイベントの充実等）
- 「つる観光戦略」に基づく「つる観光」の創出、周辺景観と調和した修景、景観回廊の起点づくり、地域景観や魅力を体感する場づくり、PRの充実等
- 自然地形や緑の連続性、歴史文化的背景に配慮した土木構造物や工作物等の整備、場の特性に応じた景観への配慮、適切な景観誘導
- 郡内縞、格子がらの活用、統一感と整序感のあるサイン整備
- 「山梨県公共事業における景観ガイドライン」に基づく公共施設の整備、公共施設の計画づくりへの市民参加の促進
- 公園の積極的な利活用、地域住民や事業者等との協働による維持管理、清掃・美化活動の促進など

② まちの玄関口となる鉄道駅周辺の魅力を高める

- ・市内には、ローカル線の素朴な魅力を持つ富士急行線の8駅が位置し、その車窓からは、連続的に展開する景観を楽しむことができます。
- ・鉄道は、日常的に多くの人々が利用する交通手段であるとともに、富士急行線は都市と富士山麓を結ぶ観光列車としての役割を担い、本市では、駅を玄関口とした多彩な観光交流が期待されています。
- ・そのため、鉄道沿線においては、往来する人々に市のイメージを印象づける車窓景観の整序と修景に努めます。また、市内にある8つの駅周辺は、それぞれの地域特性に応じ、地域の玄関口にふさわしい景観形成を図るとともに、駅からまちなかへ来訪者をいざなう魅力ある景観まちづくりに取り組みます。



・都留市駅ホームの芝桜

〈主な取り組み〉

- 富士急行線沿線の車窓景観の整序と修景(沿線のまちなみ・後背の山並み・河川水辺景観との調和、眺望景観の確保、田原の滝・桜並木・鎮守の森など沿線の四季や景観資源の活用、建築物・工作物・屋外広告物等の適正な規制・誘導、地域特性に応じた沿線緑化と維持・管理、太陽光発電施設の無秩序な設置、廃屋や荒れた農地などの景観阻害要因の除去・改善等)
- 8つの駅周辺の地域特性に応じた玄関口としての景観形成(ローカル線の趣を活かす駅舎・駅周辺の修景、谷村町駅前への屋台幕の展示検討、祭りや俳句など地域の景観資源を活用した景観の創出、休憩スポットの整備、わかりやすいサイン類の整備、ローカル線・ローカル駅ならではの物語づくり、各駅・各地域の八景の選定と情報発信、特色ある緑化等)
- 駅を拠点とした景観まちづくりの推進(幹線道路からのアクセス強化と公共交通の充実、駐車場やトイレの整備、駅からハイキングの充実、駅を起点とする駅からフットパス、散策ルートづくり、駅前レンタサイクル・シェアサイクルの検討、駅から景観ポイントへの案内サインの整備、つる8駅ガイドマップの作成、まちあるきアプリケーションの整備) など

③ 伝統文化を体感する祭り・行事を継承し、活かす

- ・本市を代表する祭りである八朔祭りは、時代を超えた賑わいを市民・観光客が一体となって体感することができます。また、各地域に伝わる神楽等の伝統行事、城下町のお茶壺道中行列などは、市民の心の拠り所として、また心象風景として大切に受け継がれ、地域の文化や暮らしぶりに触れる大切な風物詩となっています。
- ・こうした祭事や伝統行事は、地域の気候・風土と密接に結びつき、長い営みの中で育まれてきた貴重な風景資産です。また、祭りや行事に参加することにより郷土愛を育んでいくことも、景観づくりの大切な役割となります。
- ・そのため、このような郷土を物語る文化的な景観を市民の誇りを象徴する景観として継承します。また、祭りや行事の景観を観光・交流等に効果的に活かしながら、地域の絆を深め、地域振興に結びつく景観まちづくりを進めていきます。



・八朔祭り

〈主な取り組み〉

- 城下町や街道筋のまちなみ、社寺や鎮守の森、祭屋台・お神楽等の文化的景観資源等の保全
- 祭事・行事や伝統芸能の継承(地域や保存会・大学等と連携した地域文化研究の奨励、八朔祭屋台の維持・保全、ミュージアム都留との連携強化、担い手の確保と人材育成、イベント等の運営体制の強化)
- 伝統文化の魅力の向上と景観まちづくりへの活用(芭蕉の里づくり(都留市ふれあい全国俳句大会等)や都留音楽祭等の充実、各地域のお神楽の景観まちづくりへの活用、フィルムコミッションの活用)
- 祭り・行事等の交流・おもてなしへの活用(八朔祭りや神楽など共感し体感できる行事の継承、参加型の祭りの充実、地域の伝統文化に触れるフットパス・回遊ルートづくり、祭屋台や大名行列の撮影スポットづくり、効果的なイベントの創出、インバウンド誘客への活用、PRの充実) など

④ 楽しみ交流するレクリエーション景観を活かす

- 本市は、名山や景勝地のトレッキングコース、ハイキングコース、溪流釣りやキャンプ場、自然・里山体験等のレクリエーションの場が数多くあり、自然が暮らしの身近に存在することから、湧水や滝、渓谷、四季折々の彩り等も含め、自然景観やこれを楽しむレクリエーション景観を身近に体感することができます。
- また、中心市街地の後背に連なる都留アルプスは、里山の自然景観や眺望景観を身近に楽しむ魅力ある場として、市内外の多くの人に親しまれています。
- このような自然景観や眺望景観、それらの魅力を体感するレクリエーション景観は、地域交流や賑わいを生み出す重要な観光資源ともなります。今後も、本市の景観の魅力を多くの人に知ってもらうため、定住・移住促進や地域振興や観光・活性化の視点も踏まえ、多彩な景観のさらなる魅力の向上と、楽しみ、交流するレクリエーション景観を活かす景観まちづくりに取り組んでいきます。



・鹿留川の管理釣り場

〈主な取り組み〉

- 観光交流景観拠点、湧水の里景観拠点周辺の修景整備
- 自然に親しむ場・機会の創出(既存の森林、水辺レクリエーションの充実、自然・里山体験学習等の充実、グリーンツーリズム・エコツーリズムの促進、景勝地へのアクセス強化・駐車場整備、サイン類の整備等)
- 都留アルプスのレクリエーション活用(登山やハイキングへの活用、景観ポイントを結ぶ多彩なコースづくり、生態系の保全と環境教育の場づくり、眺望場所やサイン類の整備)
- 水のまちのレクリエーション・観光活用(湧水群ツアー・渓谷のハイキングなどインバウンドを考慮した水資源活用の体験型ツアーの確立、太郎・次郎滝の駐車場整備、蒼竜峡の展望場所など休憩・眺望スポット整備)
- 中心市街地に隣接する城山の活用(自然景観・眺望景観・歴史文化的景観・桜の風景等の活用、インターネットライブカメラの設置検討、頂上へのアクセスルート整備と維持管理、サイン類の整備と統合整理)
- 登山道の整備推進(駅と結ぶ公共交通の確保、駐車場整備の検討)、トレッキングルートの拡充(今倉一赤岩一二十六夜山等)、市民主体のハイキングルートづくり
- 四季の風景の活用と修景(桜やシダレザクラの名所、芝桜、ワサビ田の花、湧水池のバイカモ、渓谷の紅葉、湧水の氷柱、ホタルやムササビの生息等の貴重な動物等)、四季景観マップの作成、花の拠点・名所づくり
- 関係組織等との連携強化(都留文科大学、協働のまちづくり推進会、地元山岳会、ムササビと森を守る会などのNPO等)、協働によるレクリエーション資源の維持・管理
- PR・情報発信の充実(風景・体験・食等を活かしたインバウンド誘客、景観体験マップづくり、観光パンフレット・市ホームページの充実、SNSの活用、フィルムコミッションの活用) など

⑤ 交流・活性化の好循環を育む景観回廊を創る

- 道路や河川は、本来の機能の他に、景観拠点や地域の資源を結ぶ景観軸でもあり、多くの人が地域を眺める視点場ともなります。富士急行線や中央自動車道の車窓には、細やかな地形とそこに寄り添うまちなみなど本市の特徴的な景観が展開し、その印象はまちのイメージとして人々の心象景観に刻まれます。
- 本市固有の景観を効果的にみせるため、景観を体感し賑わいや交流を育む主要な道すじを「景観回廊」として位置づけ、景観拠点や地域の魅力資源のネットワーク化を図ります。



・十日市場湧水群のフットパス

- また、地域住民との創意工夫により、身近な景観資源を結びつける地域単位の小径づくりに取り組み、風景体験や交流を通して、景観的な一体感やイメージアップにつながる景観まちづくりを積極的に進めています。

〈主な取り組み〉

- 地域の景観特性に応じた「景観回廊」の創出(まちなみ景観軸、ふるさと交流景観軸、歴史文化景観軸)
- 沿道景観の整序・修景と快適なルートづくり(沿道のまちなみ景観の適切な景観コントロール、屋外広告物の適正な規制・誘導など景観阻害要因の改善、景観に配慮した道路施設等の整備、サイン類の整序、特色ある緑化等)
- 主要拠点周辺の安心・快適に回遊できる歩行空間の確保、魅力ある景観を体感する滞留空間の確保
- 眺望景観への配慮(見通しの確保、シークエンス景観への配慮、道路付属物や構造物の修景、景観阻害樹木の伐採と維持・管理等)
- 既存ルートの魅力の向上(都留自然遊歩道などハイキングコース・トレッキングルート等の維持・管理、休憩スポット・眺望場所の整備、アクセスの向上、サイン類の整備と統合整理、PRの充実等)
- 「まるごと博物館つる」の市内散策ルートやウォーキングトレイルの充実
- 協働による地域特性に応じた身近なフットパスづくり(水源地巡りフットパス、寺町巡りフットパス、湧水と農と里山を巡るフットパス、駅からフットパス、まちなかフットパス等)、サイン類の整備、マップの作成、おもてなしの体制づくり
- テーマ性のある景観を体感するルートづくり(景勝地のハイキングコース・里山トレッキングルート・水の文化を迎えるルート、ふるさとの散歩道等)
- 特色ある景観を体験するツアーづくり(湧水群ツアー、眺望巡りツアー等)
- 8つの鉄道駅や道の駅つる、リニア見学センター等の交流結節点と主要な景観拠点を結ぶ公共交通体系の確立
- 効果的な観光交流活動やPRの充実(鉄道との連携強化、まち歩きを活用、観光ボランティアガイドの育成、景観まちづくりのイベント充実、景観資源マップの充実) など

3. 景観形成推進ゾーンの方針

(1) 景観形成推進ゾーンの選定

景観まちづくりを効果的に進めるためには、景観形成上重要なところから先導的な取り組みを推進し、その成果を目に見るようにしていくことが重要です。

そのため、景観市民アンケート調査結果や景観まちづくり市民懇談会の意見等も踏まえ、下記の選定基準に基づき、特に先導的かつ重点的に景観形成を推進すべき区域を「景観形成推進ゾーン」とし、今後「景観形成重点地区」として指定していくべき候補と位置づけ、着実な取り組みを進めていきます。

なお、景観形成推進ゾーンは固定的なものではなく、今後必要に応じて順次追加を検討していきます。

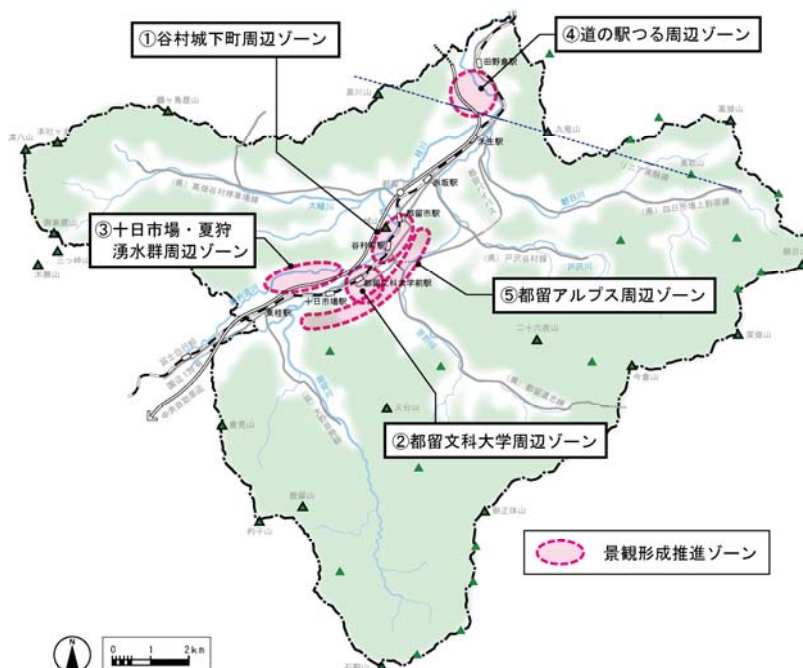
■景観形成推進ゾーンの選定基準

- 都留市らしさを象徴する景観で、本市のシンボルとして先導的な景観形成が不可欠なこと
- 景観に関わるプロジェクトが実施あるいは計画され、効果的な景観形成が期待されること
- 際立った特徴と高い景観的資質を備え、景観の保全・整備の必要性が高いこと
- 住民の主体的な景観形成活動が行われており、協働による景観まちづくりの波及効果が期待されること など

■景観形成推進ゾーン

景観形成推進ゾーン	選定理由
①谷村城下町周辺ゾーン	行政・文化施設が集積する中心市街地で、城下町の歴史文化を象徴するシンボル拠点として、市の顔にふさわしい先導的で風格ある景観形成が必要である。
②都留文科大学周辺ゾーン	まちづくりプロジェクトの計画など新たな市街地形成が進展しており、大学と連携した取り組みや地域活動を活かし、良好なまちなみ景観形成の効果が期待できる。
③十日市場・夏狩湧水群周辺ゾーン	湧水の里のシンボル景観の保全、集落景観や農の風景の効果的な活用が必要であり、景観形成に向けた地域住民の協働による取り組みが期待できる。
④道の駅つる周辺ゾーン	道の駅つるやリニア見学センターを中心に、代表的な観光・交流の窓口として、景観資源の活用による地域活性化と効果的な景観PRが期待できる。
⑤都留アルプス周辺ゾーン	暮らしに身近な自然景観の保全、中心市街地後背の魅力あるレクリエーション資源の活用、まちなかの景観ポイントとの連携などを図ることで、市民と協働による景観まちづくりへの活用と波及効果、さらには観光振興が期待できる。

■景観形成推進ゾーンの位置



(2) 景観形成推進ゾーンの景観形成方針

① 谷村城下町周辺ゾーン

■景観形成の目標

城下町の歴史文化を継承する
本市の顔となる質の高い景観を創出します

■景観形成方針

●城下町と水の文化を継承し、歴史文化を誇るシンボル景観を創出します

- ・城下町の町割り、歴史的建造物など歴史文化的景観の維持・保全、潜在的資源の顕在化
- ・水路が巡るまちなみの修景、家中川、寺川、中川の修景整備、小水力発電の景観活用
- ・富士山に向かい開かれた眺望・見通しの保全と活用、城山と連続する一体的な歴史的景観の創出

●本市の顔となる、質の高い魅力ある中心市街地のまちなみ景観を形成します

- ・統一感ある城下町の歴史的まちなみの修景（路地やまちかどの修景、黒塀プロジェクトの推進等）
- ・水の文化を活かすまちなみ景観の創出
- ・市街地後背の里山・緑地景観の保全、身近な自然との親和性に配慮したまちなみ景観の形成
- ・中心商店街の賑わい景観の形成、国道 139 号等の安全な歩行空間の確保、歴史的道すじの修景
- ・空き家、空地の有効活用、建築物等の適正な景観コントロール、屋外広告物等の適正な規制・誘導

●歩いて楽しいルートづくりと交流・おもてなしの景観回廊を創出します

- ・寺町巡りなど城下町体感ツアーや水の文化を巡る回遊ルートづくり、道標・サインの充実
- ・谷村地区と城山を結ぶ歴史探訪ルートづくり、富士山と市街地をのぞむ眺望の有効活用
- ・谷村町駅周辺の景観整備、駅からハイキングや資源を結ぶまちなみフットパスの充実
- ・交流とおもてなしの体制づくり（祭事や伝統文化を活用したツーリズム等の交流機会の創出、レンタサイクル事業の充実、マップや情報発信の充実、ボランティアガイドの育成）など



・谷村陣屋跡

② 都留文科大学周辺ゾーン

■景観形成の目標

学園都市を象徴する
新市街地の良好なまちなみ景観を創出します

■景観形成方針

●計画的な市街地整備と併せた文化の薫るまちなみ景観を創出します

- ・「生涯活躍のまち・つる事業」に伴う公共空間の先導的な景観整備、大規模店舗や公共施設、大学、住宅地の個々の景観が調和する個性と統一感ある学園都市の景観の創出
- ・整序感あるまちなみ景観の誘導（良好な風致や眺望の保全、後背の里山樹林との連続性への配慮等）
- ・学生のまち・文化施設が集積する特性の景観活用、都留文科大学前駅周辺のにぎわい景観の形成

●豊かな環境と共生する、都留フィールドミュージアムとの協働による景観まちづくりを進めます

- ・フィールドミュージアム研究エリア及び周辺における、豊かな環境と共生する交流・協働型の景観まちづくりの促進、大学との連携と知的資源の有効活用による景観形成の推進、地域交流の充実
- ・地域景観資源の有効活用、景観資源を結ぶルートやフットパスづくり

●地域特性と調和した建築物等の適正な景観コントロールを推進します

- ・開発行為や建築物等の周辺景観に配慮した適正な景観コントロール、ゆとりある沿道景観や歩行空間の修景、屋外広告物の適正な規制・誘導、サイン類の統合・整理、その他景観阻害要因の改善
- ・地域景観と調和するまちなみのルールづくり



・都留文科大学前駅周辺のまちなみ

③ 十日市場・夏狩湧水群周辺ゾーン

■景観形成の目標

湧水に培われた
「富士湧水の里」の郷土景観の魅力を育みます



・断崖を滴る湧水

■景観形成方針

●湧水に培われた「富士湧水の里」のシンボル景観を守り・活かします

- ・特徴的な溶岩造形や田原の滝、太郎・次郎滝や十日市場・夏狩湧水群一帯の湧水の景観の維持・保全、湧水に培われた営み・地域文化の継承と景観活用
- ・暮らしに溶け込む水資源の顕在化と有効活用（水源地、水路、洗い場・水汲み場等）
- ・「都留地下水保全条例」に基づく湧水地・水源の保全、湧水地景観の周知、環境美化活動の充実
- ・「太陽光発電施設の適正導入ガイドライン」（山梨県）において立地に慎重な検討が必要なエリアとされていることに基づく、太陽光発電施設の適切な規制・誘導
- ・生活排水対策やごみ対策等の地域ルールづくりと周知・啓発、景観阻害要因の改善

●里地・里山・里水の郷土の農村景観の魅力を高めます

- ・湧水の里の固有の集落景観の維持と魅力の向上（農地、湧水や水路、小径、石垣、鎮守の森等）
- ・水掛菜やわさび田など特徴ある農の風景の維持・保全
- ・空き家や古民家を活用したツーリズムや地域交流スペースづくり、都市と農村交流のモデルづくり

●景観資源を結び地域とふれあい交流を育むルートづくりを進めます

- ・湧水群ツアーや水源地巡り等のイベントの充実、里地・里山・里水を巡るフットパスや散策路・休憩スポットづくり（貴重な地形観察の遊歩道整備、水路や小川、畦道、小径、里山等を活用した散策・交流ルート、空き家・古民家等を活用した休憩スポット）
- ・景勝地へのアクセス・駐車場整備、マップの作成、サイン類の整備、情報発信・PRの充実

④ 道の駅つる周辺ゾーン

■景観形成の目標

観光・交流の玄関口にふさわしい
地域景観と調和した景観拠点の魅力を高めます



・道の駅つるとリニア実験線

■景観形成方針

●多彩な景観資源を活用し、観光・交流の玄関口となる景観拠点の魅力を向上を図ります

- ・観光・交流景観拠点の魅力の向上（道の駅つる・リニア実験見学センター・尾県郷土資料館が連携した「つる観光」の充実、地域景観と調和した玄関口にふさわしい修景整備、景観施策と観光・活性化施策の連携、情報発信・窓口機能の充実）
- ・富士山と田園、リニア実験線の特徴的な眺望景観の活用、稀有の眺望のPR
- ・地域景観や魅力を体感する場づくり、交流機会の充実（観光農園、環境教育、各種ツーリズムやレクリエーション体験、地産地消の促進、定期的な市場・マルシェの開催等）

●里山・農村景観と調和した拠点周辺の適切な景観誘導を推進します

- ・森林・里山景観や周辺の農村集落景観との調和、山裾や水辺、農地・里山に隣接する周辺建築物等の適切な景観誘導、太陽光発電施設の設置や屋外広告物の適正な規制・誘導
- ・土木構造物や工作物等の景観への配慮

●玄関口から魅力ある景観ポイントへ誘導する景観回廊づくりを進めます

- ・来訪者をまちなかへ誘導するルートの創出（景観回廊の起点づくり、沿道景観の整序・修景、標識・サイン類の統合・整理、鉄道との連携強化、公共交通の充実、効果的なPR）
- ・道の駅つる・リニア実験見学センター・尾県郷土資料館周辺を結び回遊するルート整備（施設間のアクセス向上、周辺の景観資源を結ぶフットパスづくり、サイン類の設置）

⑤ 都留アルプス周辺ゾーン

■景観形成の目標

郷土の豊かな自然にふれあい
身近に体感する交流景観を創出します

■景観形成方針

●暮らしに身近な里山・森林景観の保全と多彩な眺望景観の魅力を高めます

- ・都留アルプスの森林景観の保全、市街地後背の里山・森林の維持と緑の連続性の確保、希少な動植物の生息環境の保全
- ・烽火台、ピーヤ（水路橋）等の景観資源の顕在化と有効活用、登山道の滞留空間や眺望を楽しむ視点場づくり、眺望案内板等の設置
- ・景観阻害樹木等の適正な維持・管理

●豊かな自然レクリエーションを体感し交流する景観を育みます

- ・森林レクリエーションの充実、自然体感型ツーリズムや森林療法等の健康づくり、自然観察・体験学習など身近に自然に親しむ場・機会づくりの促進
- ・休憩スポットの整備、登山道やハイキングコースの充実、市民等との協働による森林・緑の維持管理と市街地後背を彩る四季の風景散策ルートづくりの促進

●まちなかへ来訪者を誘導し回遊するルートづくりを進めます

- ・市街地と都留アルプス登山道のアクセス、路線バス等の利便性の向上、駐車場整備、サイン・案内の充実
- ・登山道起終点と景観ポイントを結ぶフットパス、景観を体感するツアー・イベントの充実



・ピーヤ（水路橋）